

■令和6年度「悩みやいじめに関するアンケート調査」について■

札幌市教育委員会 学校教育部 児童生徒担当課

1 調査の目的

本調査は、児童生徒の実態をよりの確に把握し、悩みを抱えている児童生徒やいじめの問題の早期発見、対処の取組に資することを目的とする。

2 調査対象と回収率（令和6年度は1人1台端末「心の健康観察」アプリで実施）

	小学校 (分校含む)	中学校 (分校含む)	高等学校 (定時制含む)	特別支援学校	合計
学校数	199校	100校	8校	4校	310校
児童生徒数	87,877人	44,248人	6,585人	324人	139,034人
調査提出児童生徒数	84,638人	35,719人	5,221人	283人	125,861人
回収率	96.5%	90.3%	88.8%	87.3%	94.3%

※義務教育学校の前期課程（1～6年次）は小学校、後期課程（7～9年次）は中学校に含む。

※中等教育学校の前期課程（1～3年次）は中学校、後期課程（4～6年次）は高等学校に含む

3 調査実施日程等

- (1) 学校への調査依頼通知日 令和6年10月22日（火）
- (2) 調査実施期間 令和6年11月1日（金）～12月6日（金）

4 調査内容及び方法等

- (1) 札幌市全体のいじめに関する実態や対応状況について把握し、今後の取組に資するとともに、各学校において、いじめの早期発見、対処の取組が一層進むよう、本調査を実施することとする。

いじめは、どの子どもにも、どの学校でも起こり得ることや、いじめが背景事情として認められる自殺事案が全国で発生していることなどから、いじめ根絶に向けて、児童生徒の悩みやいじめの状況等についての的確に把握し、速やかに適切な対応をすることが重要と考える。

- (2) 令和6年度は、ICTを活用することで、いじめの見逃しや一部の教職員による抱え込みを防ぎ、いじめの未然防止・早期発見・対処の取組に資することをねらいとして、1人1台端末「心の健康観察」アプリで実施した。質問項目については、発達の段階を踏まえ、設問事項の表現等に配慮した上で、小学校4年生以上は全校種共通のものとした。
- (3) 回答については、いじめの早期発見・適切な対処の観点から記名式とし、さらに、プライバシー保護に配慮し、各家庭で回答するようにした。ただし、何らかの事情により、無記名を希望する、用紙での回答を望む、提出を希望しない児童生徒がいる場合は、個別に対応するなどの配慮をした。
- (4) 学校では、本調査実施後、原則、全ての児童生徒に対して、学級担任などによる個別面談（教育相談）を実施し、いじめ以外にも考えられる様々な悩みについても聞き取るなどした。また、いじめに関わる回答に対しては、関係する全ての児童生徒に対し、関係児童生徒の気持ちに配慮しながら慎重に事実確認を行い、その内容を関係保護者に伝えとともに学校いじめ対策組織において検討し、関係保護者と連携を図りながらいじめ解消に向けた対応を行った。
- (5) 児童生徒への質問に、「最近いじめられている人を見たり、聞いたりしたことがありますか」という項目を設け、本人以外からの情報も活用できるよう配慮した。

注1) 分析に当たっては、校種別（定時制高校4年生は高校3年生に組込）を基本とし、本市のスクールカウンセラースーパーバイザーなどからの助言等も参考にした。なお、特別支援学校のデータは各校種のデータに加算した。

注2) 児童生徒調査における、各項目の数値については、無回答の場合もあるため、回答数の合計と調査提出児童生徒数は必ずしも一致していない。

■令和6年度「悩みやいじめに関するアンケート調査」回答結果及び傾向■

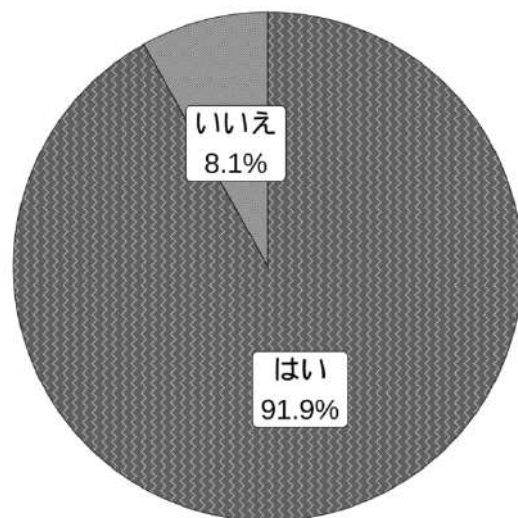
設問1 あなたは、学校が楽しいですか。

ア はい イ いいえ

【設問1の回答結果】

○校種別人数 (人)

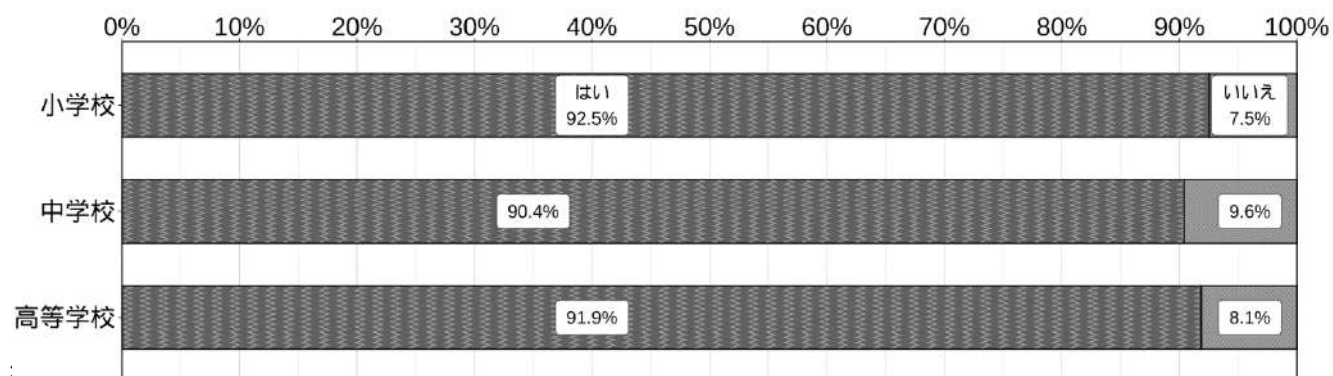
	小学校	中学校	高等学校	全体
はい	78,333	32,292	5,039	115,664
いいえ	6,315	3,435	447	10,197
調査提出数	84,648	35,727	5,486	125,861



○校種別割合 (%)

	小学校	中学校	高等学校	全体
はい	92.5%	90.4%	91.9%	91.9%
いいえ	7.5%	9.6%	8.1%	8.1%

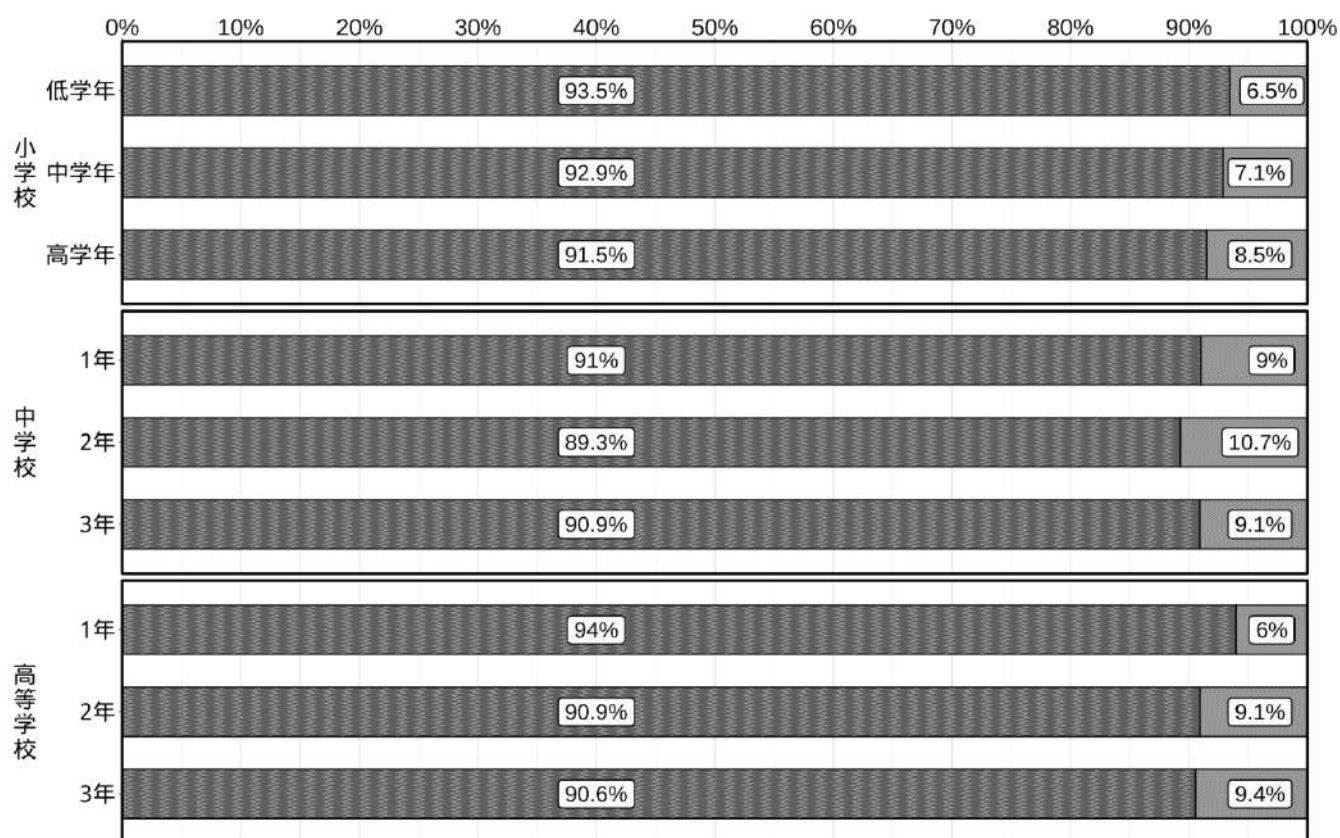
○「はい」・「いいえ」の校種別割合



○設問 1 に対する児童生徒の学年別回答数及び割合 (人)

	小学校						中学校			高等学校			全体
	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	1 年	2 年	3 年	1 年	2 年	3 年	
はい	12,430	12,482	13,151	13,091	12,914	13,036	10,990	10,695	10,575	1,765	1,621	1,653	114,403
いいえ	849	888	1,009	1,008	1,249	1,163	1,086	1,286	1,058	113	162	172	10,043
調査提出数	13,279	13,370	14,160	14,099	14,163	14,199	12,076	11,981	11,633	1,878	1,783	1,825	124,446
「はい」の割合	6.4%	6.6%	7.1%	7.1%	8.8%	8.2%	9.0%	10.7%	9.1%	6.0%	9.1%	9.4%	8.0%

■ はい ■ いいえ



【設問 1 の回答結果の傾向】

児童生徒の学年別回答割合では、どの校種においても 10% 前後が「いいえ」と回答している。また、学年が上がるにつれて、「いいえ」と回答している割合がやや増加する傾向が見られる。

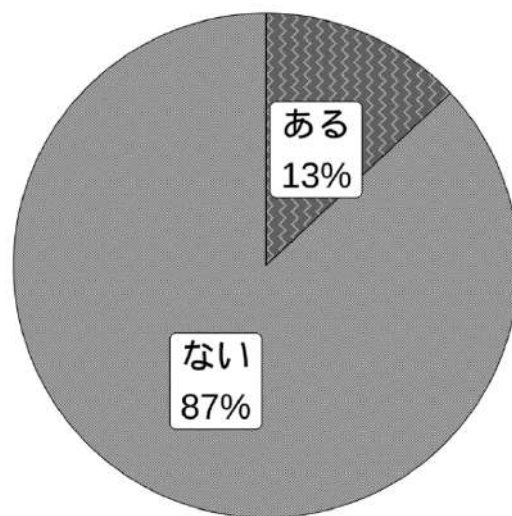
設問 2 あなたは、今、何か悩んでいることはありますか。

ア ある イ ない

【設問 2 の回答結果】

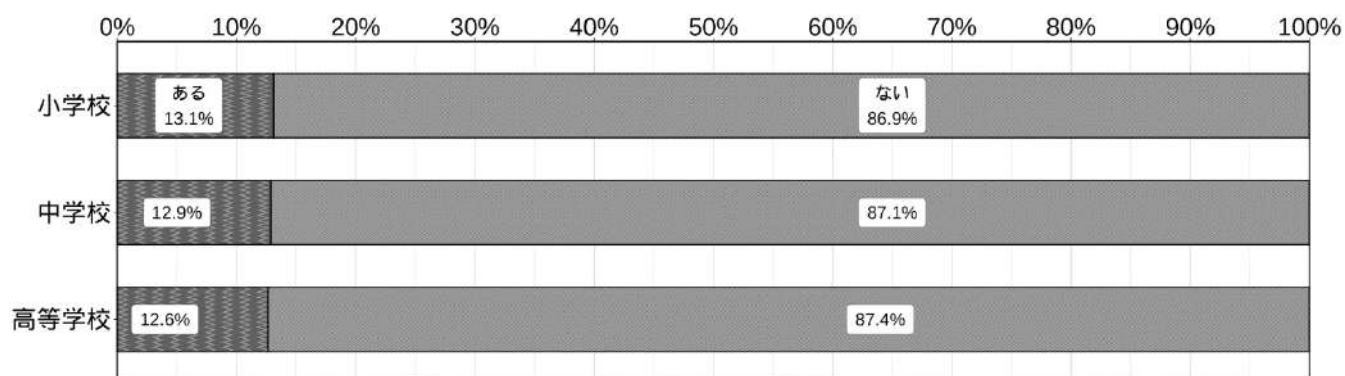
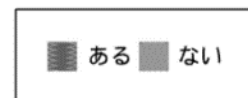
○校種別人数 (人)

	小学校	中学校	高等学校	全体
ある	11,100	4,599	693	16,392
ない	73,548	31,128	4,793	109,469
調査提出数	84,648	35,727	5,486	125,861



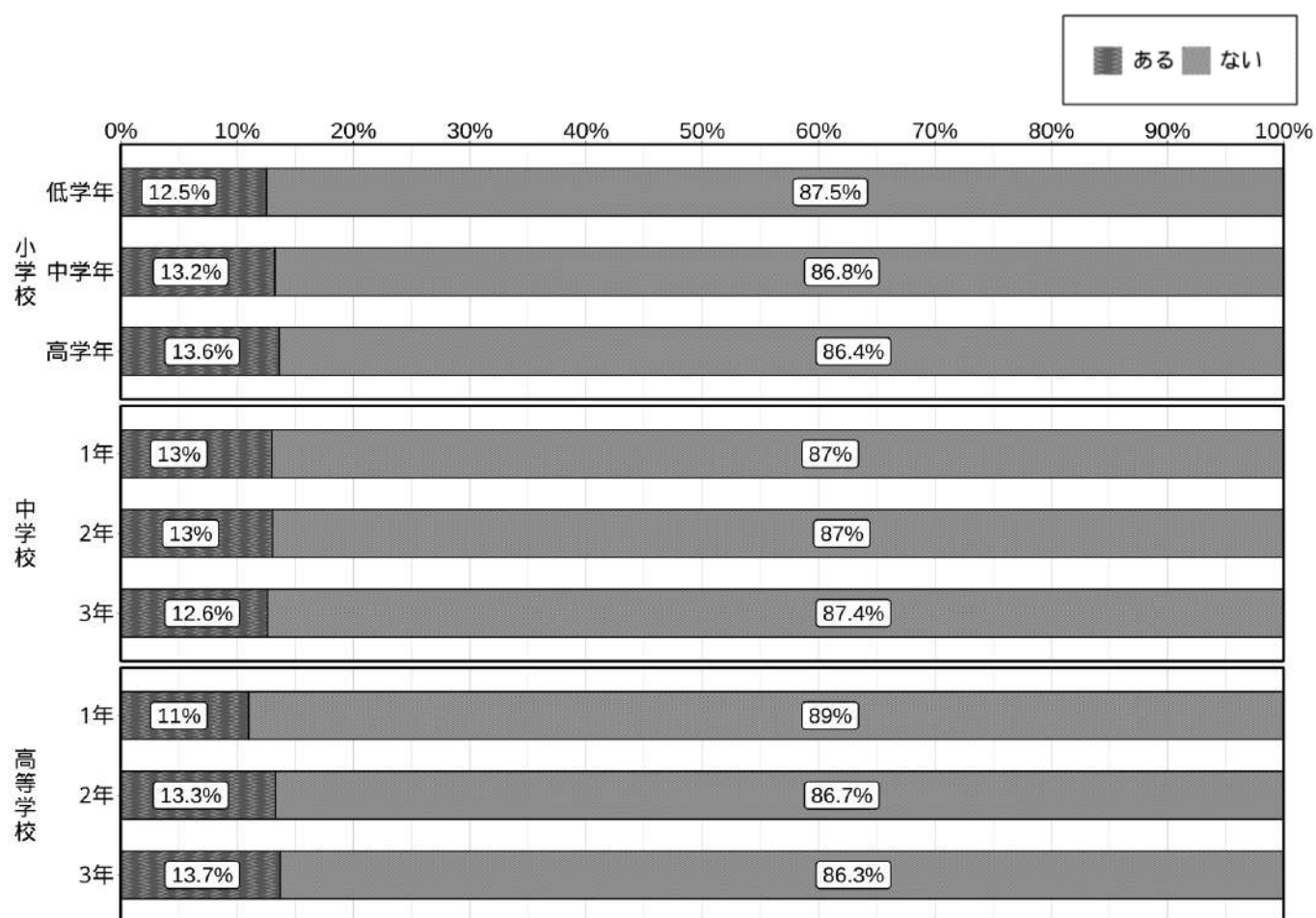
○校種別割合 (%)

	小学校	中学校	高等学校	全体
ある	13.1%	12.9%	12.6%	13.0%
ない	86.9%	87.1%	87.4%	87.0%



○設問 2 に対する児童生徒の学年別回答数及び割合 (人)

	小学校						中学校			高等学校			全体
	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	1 年	2 年	3 年	1 年	2 年	3 年	
ある	1,536	1,800	1,895	1,849	1,918	1,942	1,568	1,563	1,465	206	237	250	16,229
ない	11,743	11,570	12,265	12,250	12,245	12,257	10,508	10,418	10,168	1,672	1,546	1,575	108,217
調査提出数	13,279	13,370	14,160	14,099	14,163	14,199	12,076	11,981	11,633	1,878	1,783	1,825	124,446
「ある」の割合	11.6%	13.5%	13.4%	13.1%	13.5%	13.7%	13.0%	13.0%	12.6%	11.0%	13.3%	13.7%	13.0%



【設問 2 の回答結果の傾向】

児童生徒の学年別回答割合では、どの校種、どの学年においても 13% 前後が「ある」と回答しており、発達の段階に依らない回答となる傾向が見られる。

設問 3 あなたは、今の学年になってから、いじめられたことがありますか。
ア ある イ ない

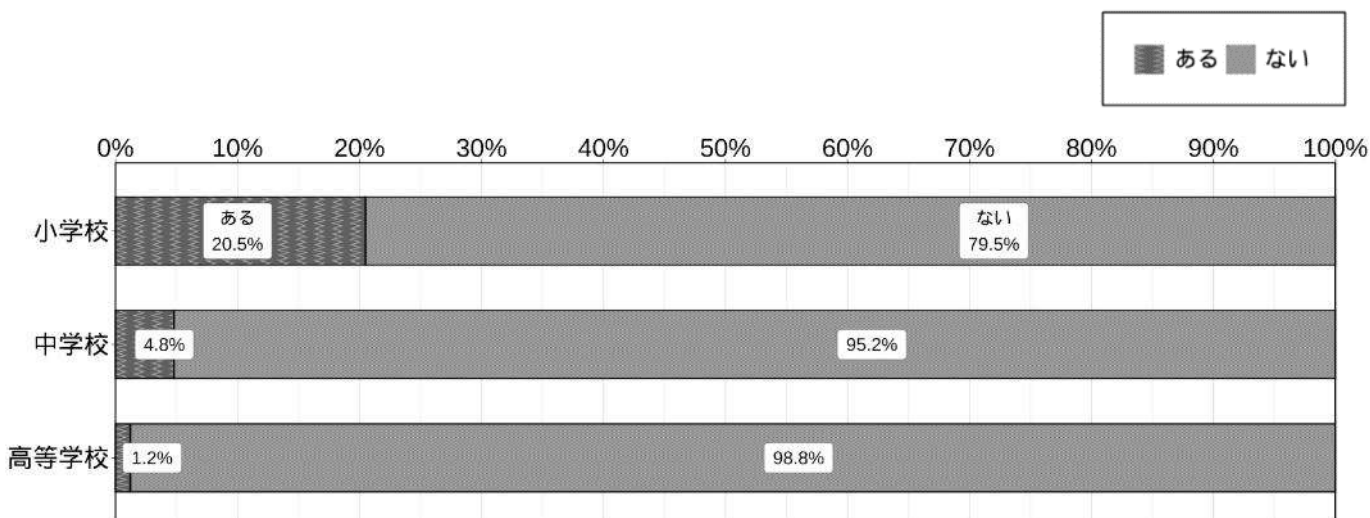
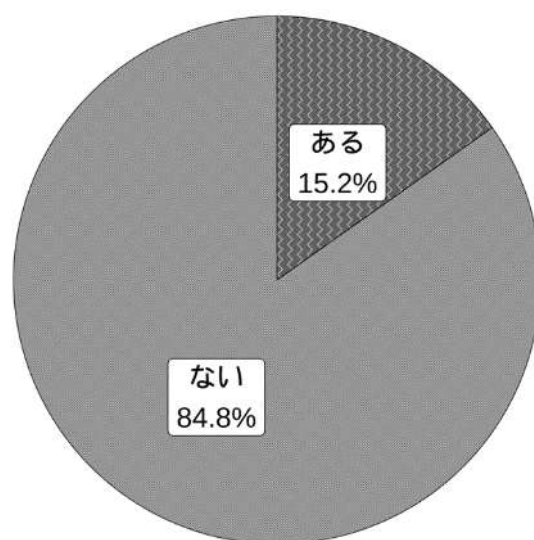
【設問 3 の回答結果】

○校種別人数 (人)

	小学校	中学校	高等学校	全体
ある	17,355	1,715	67	19,137
ない	67,293	34,012	5,419	106,724
調査提出数	84,648	35,727	5,486	125,861

○校種別割合 (%)

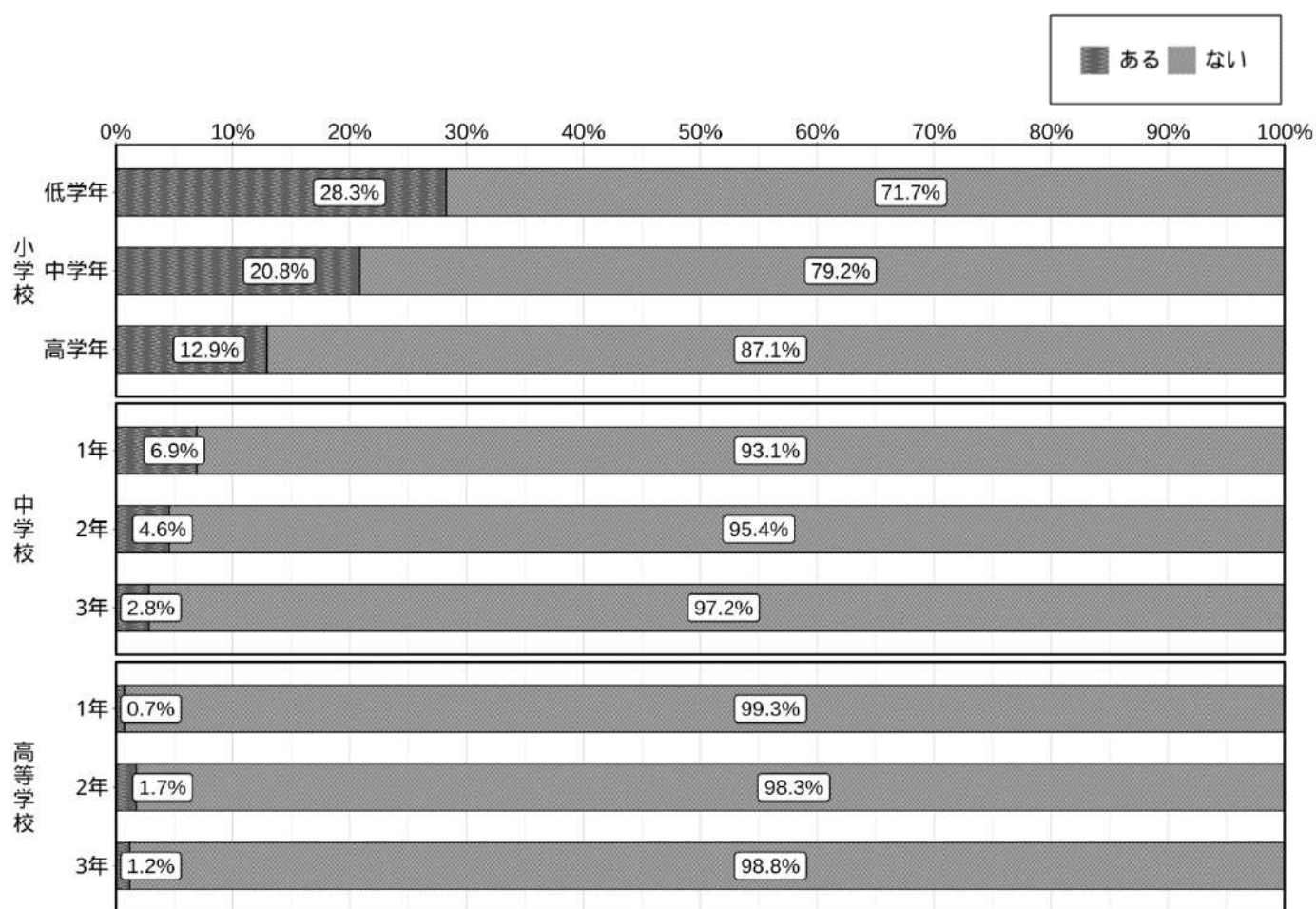
	小学校	中学校	高等学校	全体
ある	20.5%	4.8%	1.2%	15.2%
ない	79.5%	95.2%	98.8%	84.8%



○設問３に対する児童生徒の学年別回答数及び割合

(人)

	小学校						中学校			高等学校			全体
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	
ある	3,874	3,657	3,077	2,813	2,062	1,607	834	550	329	14	31	22	18,870
ない	9,405	9,713	11,083	11,286	12,101	12,592	11,242	11,431	11,304	1,864	1,752	1,803	105,576
調査提出数	13,279	13,370	14,160	14,099	14,163	14,199	12,076	11,981	11,633	1,878	1,783	1,825	124,446
「ある」の割合	29.2%	27.4%	21.7%	20.0%	15.6%	11.3%	6.9%	4.6%	2.8%	0.7%	1.7%	1.2%	15.2%



【設問３の回答結果の傾向】

児童生徒の学年別回答割合では、「ある」と答えている児童生徒の割合は、小学校低学年では28.3%だが、学年が上がるにつれて割合が減っている傾向が見られる。

設問 4 今の学年になってから、いじめられたことが“ある”と答えた人に聞きます。どんないじめですか。(複数回答可)

ア 仲間はずれや無視をされる

イ たたかれたり、けられたりする

ウ 持ち物をかくされたり、いたずらされたりする

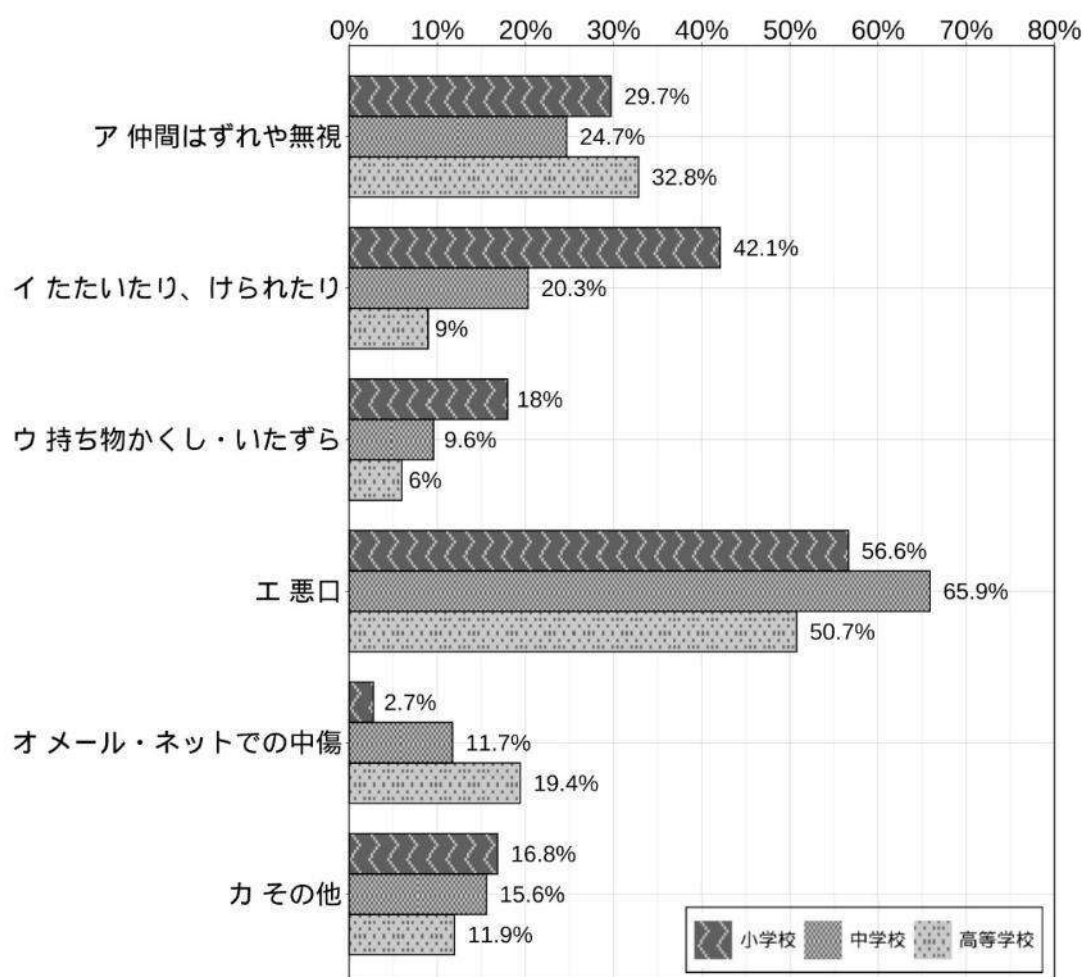
エ 悪口を言われる

オ 傷つく内容のメールが送られてきたり、インターネットに書き込まれたりする

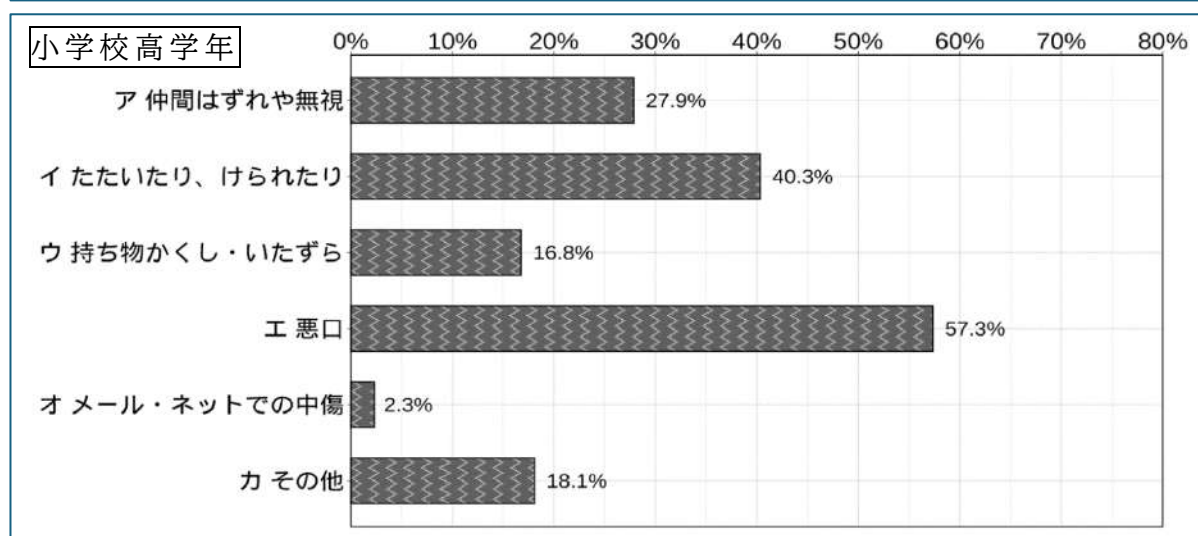
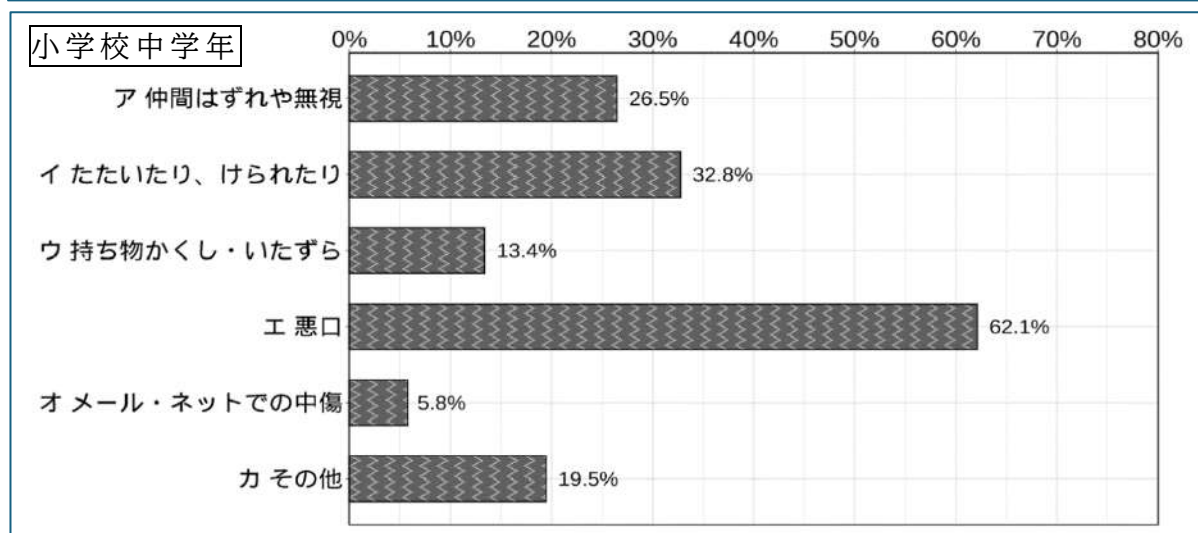
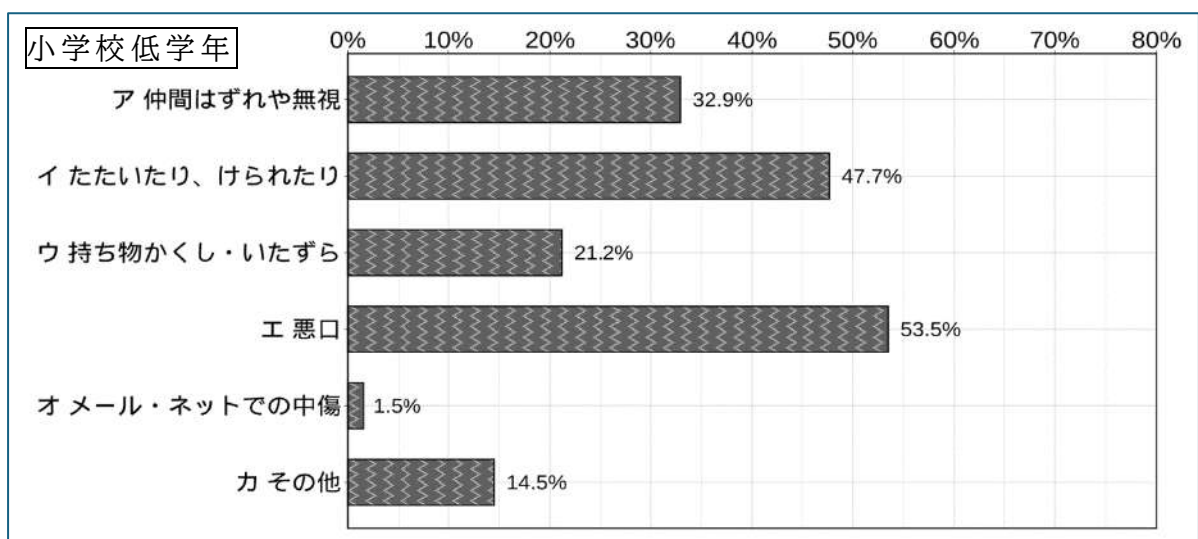
カ その他

【設問 4 の回答結果】

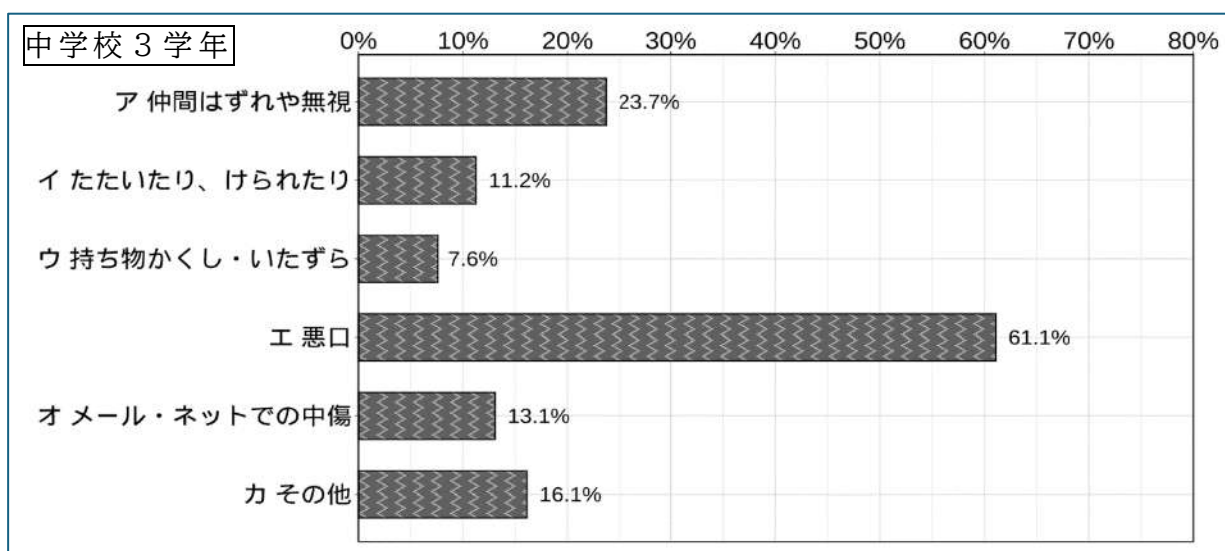
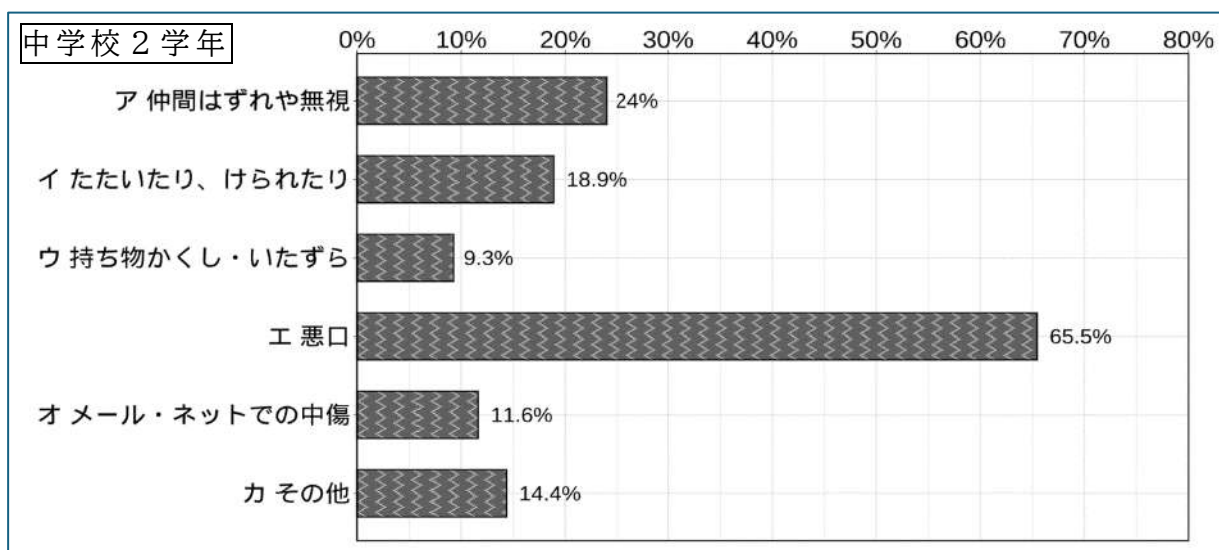
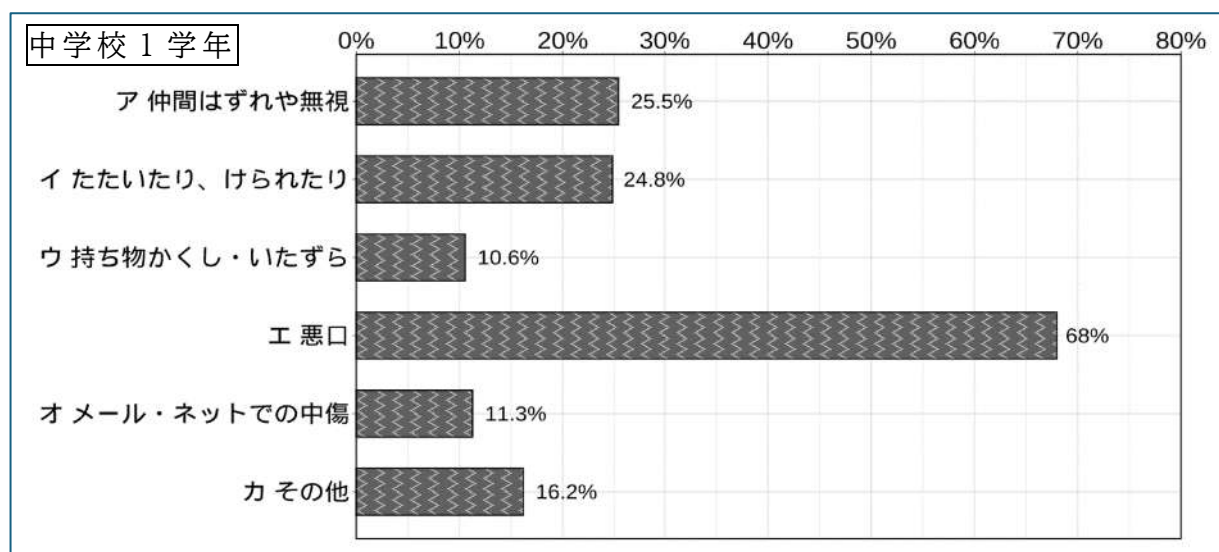
○回答の内訳＜校種別＞



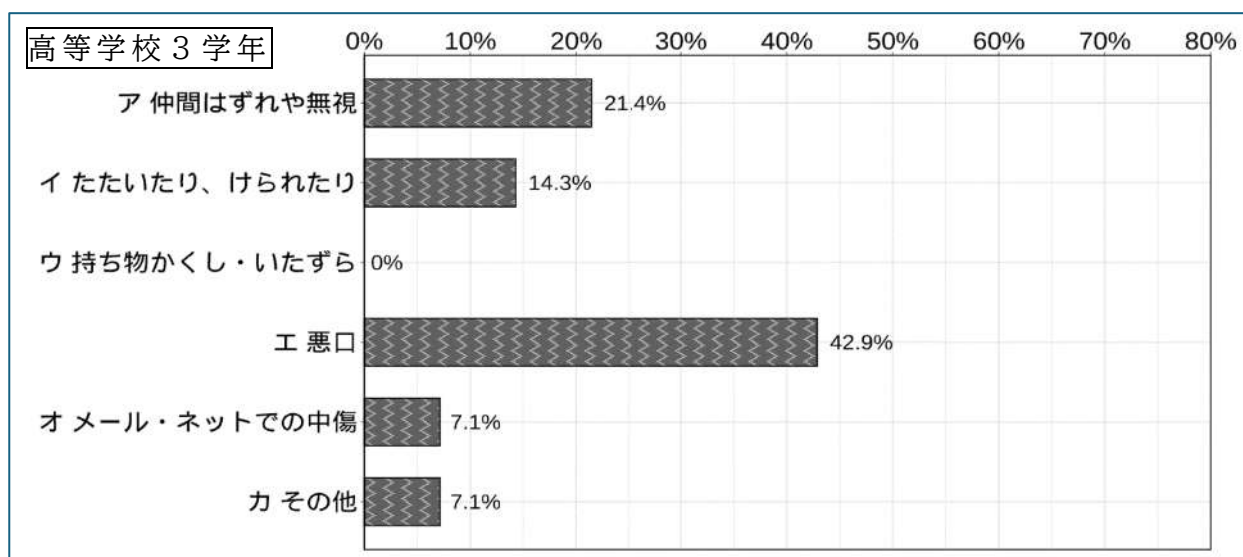
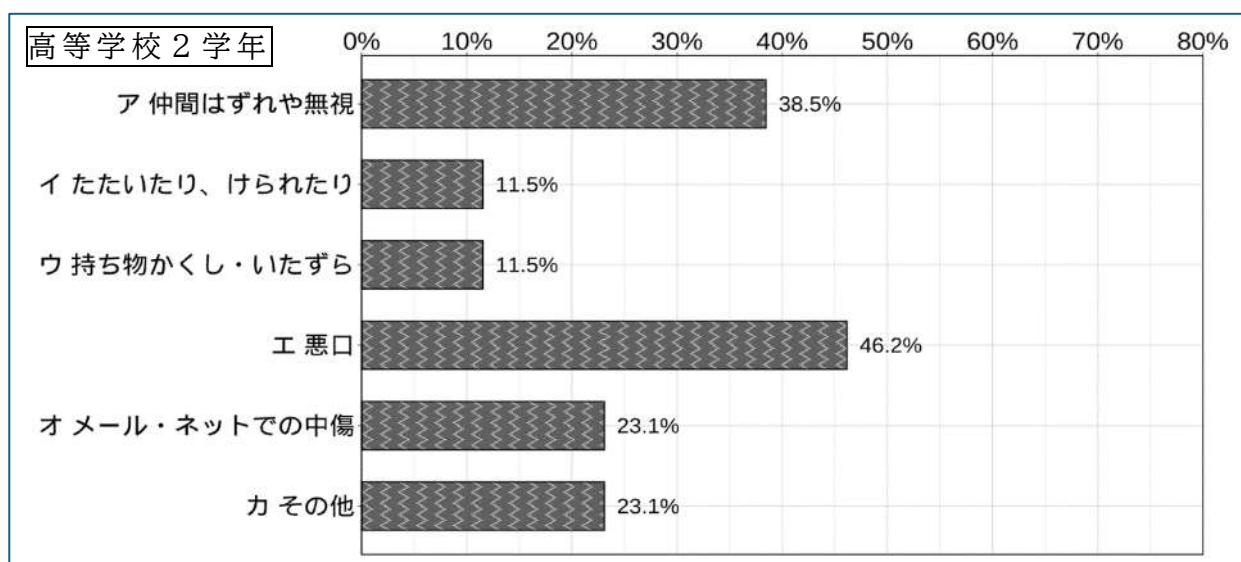
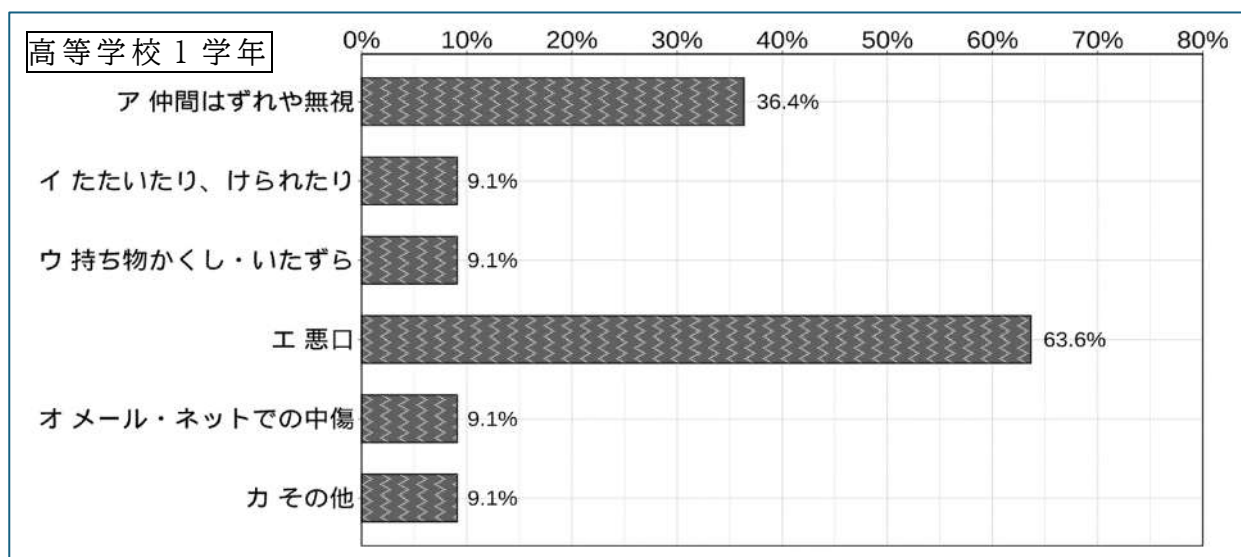
○回答の内訳＜小学校低・中・高学年別＞



○回答の内訳＜中学校学年別＞



○回答の内訳＜高等学校学年別＞



【設問 4 の回答結果の傾向】

回答の内訳〈校種別〉では、どの校種においても「悪口」の割合が多い。次いで、小学校では、「たたいたり、けられたり」が多いが、中学校及び高等学校では、「仲間はずれや無視」が多い。

また、学年が上がるにつれて、「たたいたり、けられたり」「持ち物かくし・いたずら」の割合は減っているが、「メール・ネットでの中傷」の割合は増える傾向が見られる。

設問 5 あなたは、自分がいじめられたら誰に相談しますか。（複数回答可）

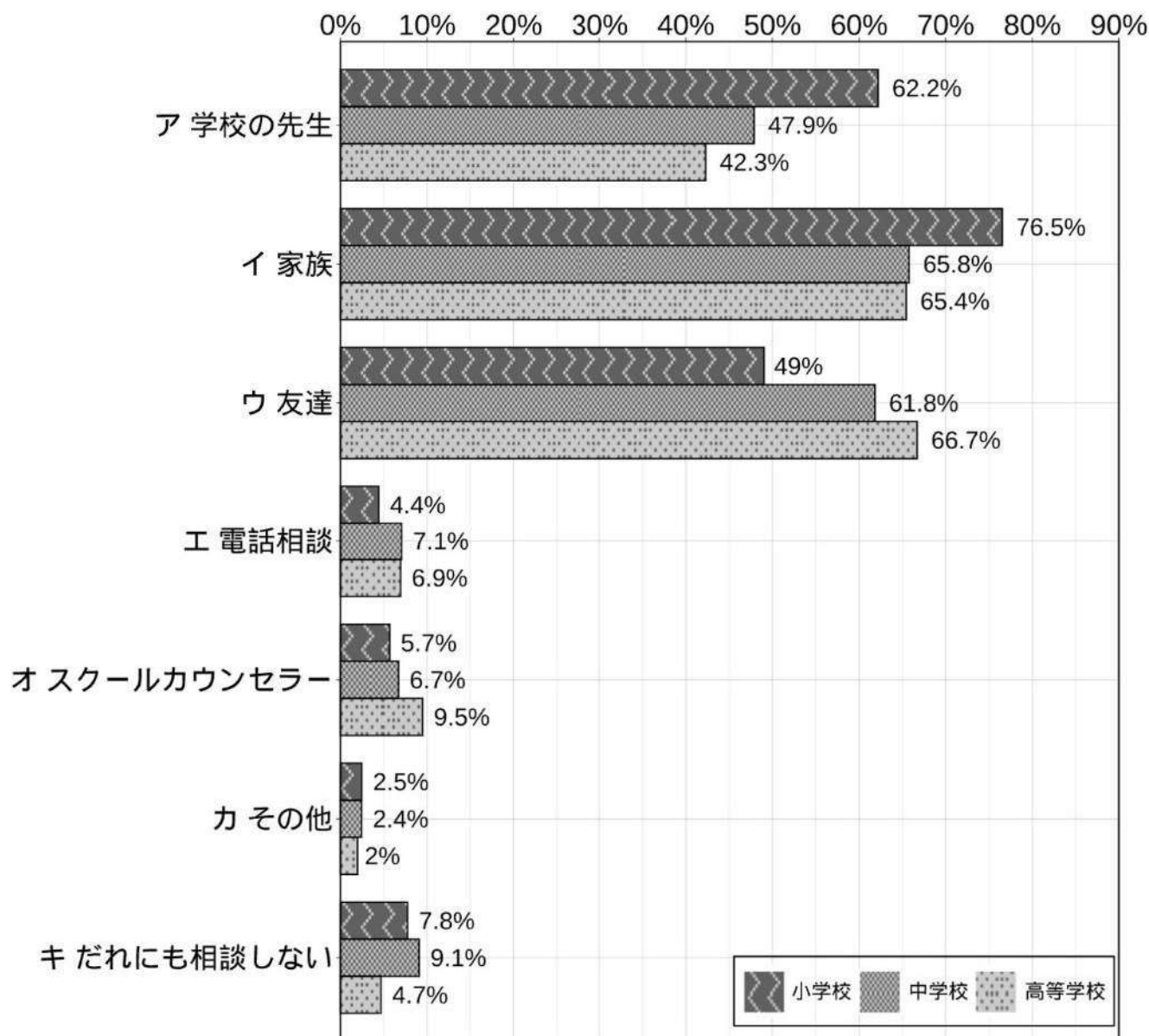
ア 学校の先生 イ 家族 ウ 友達

エ 電話相談 オ スクールカウンセラー カ その他

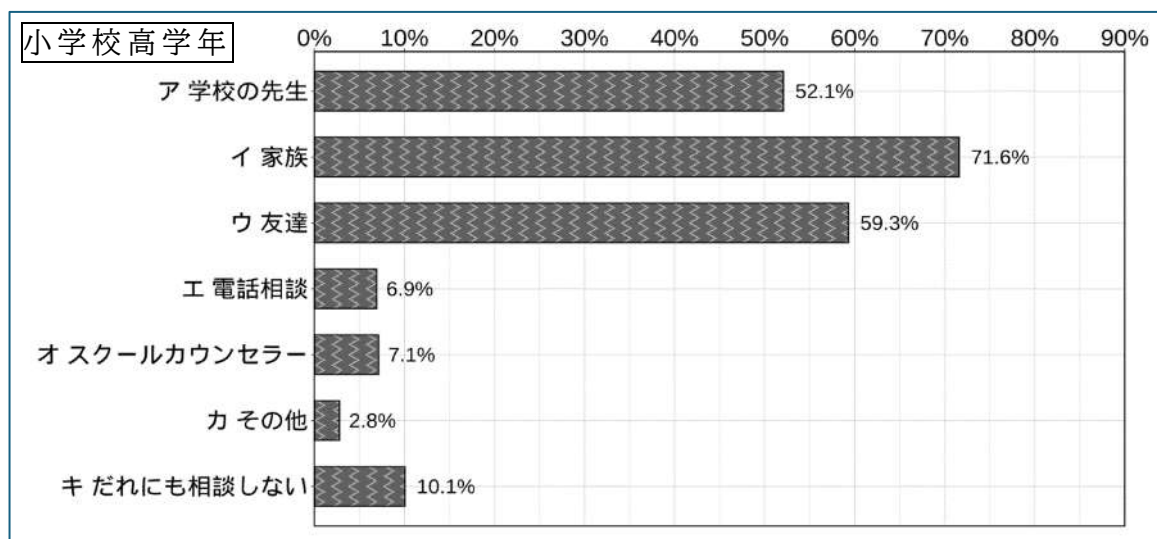
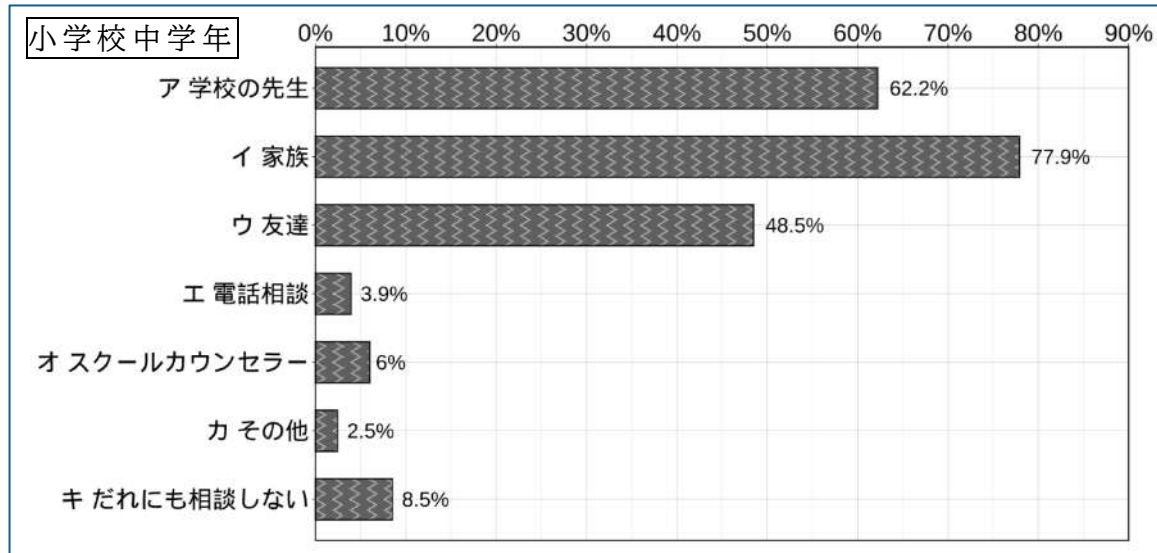
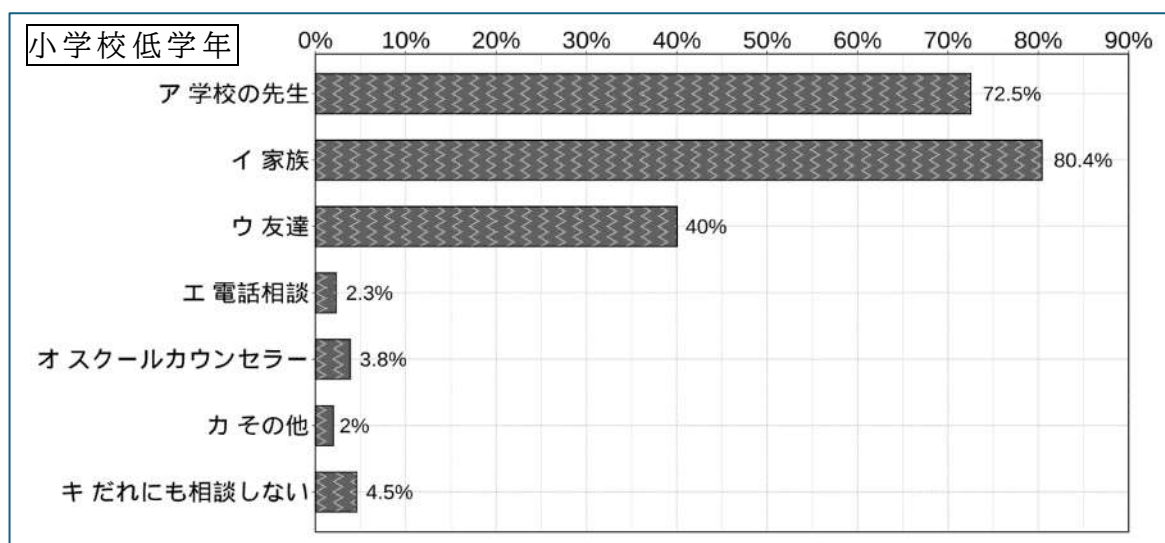
キ 誰にも相談しない

【設問 5 の回答結果】

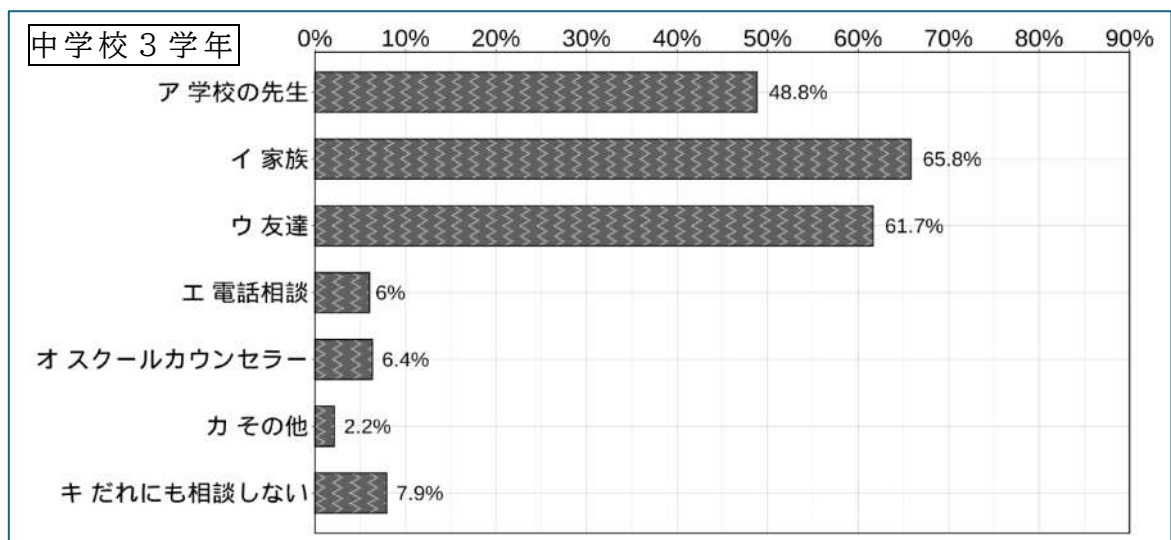
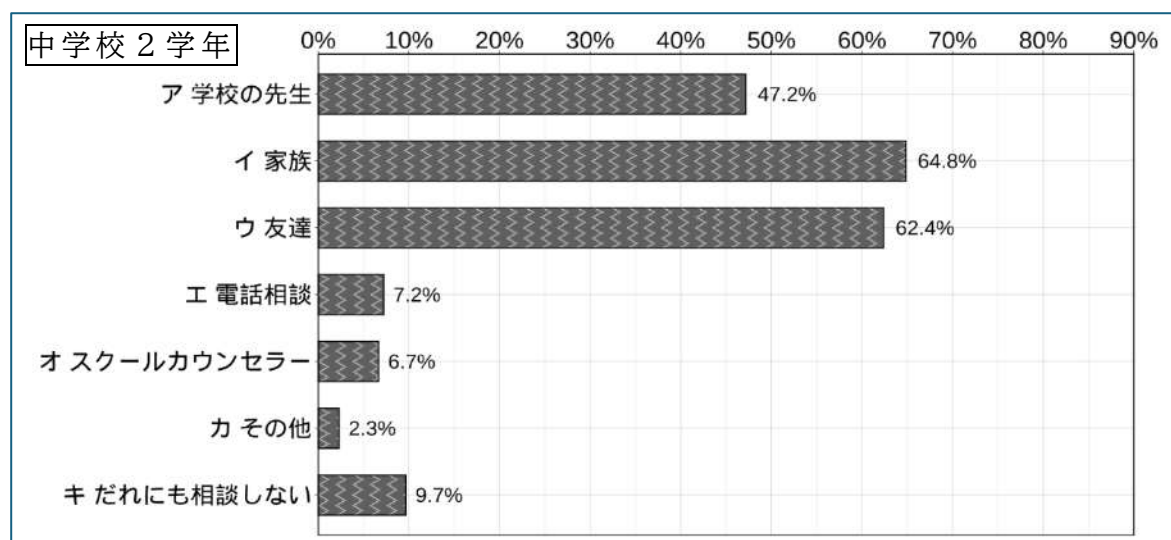
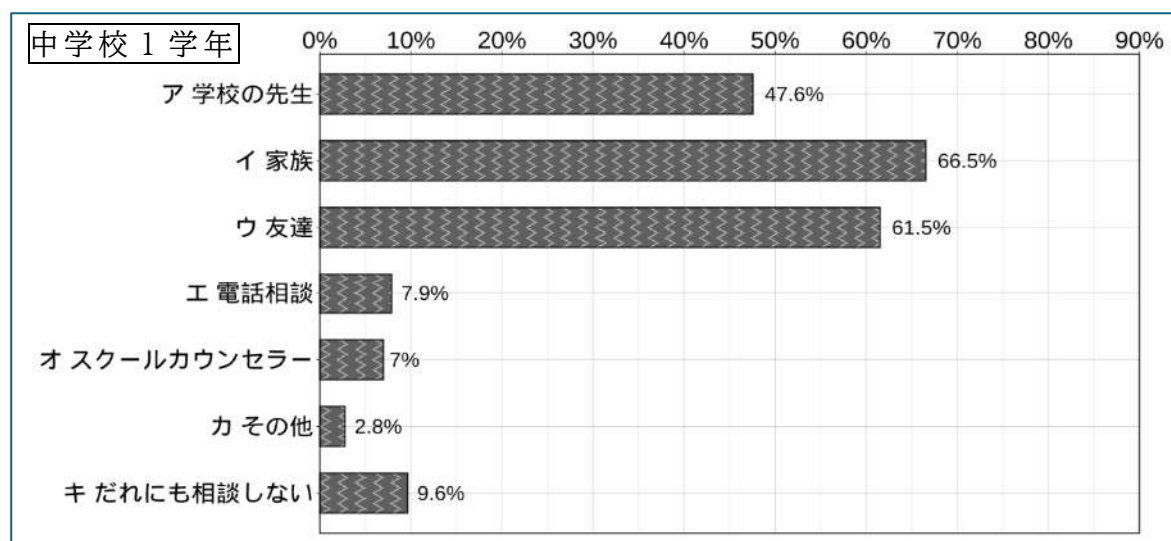
○回答の内訳〈校種別〉



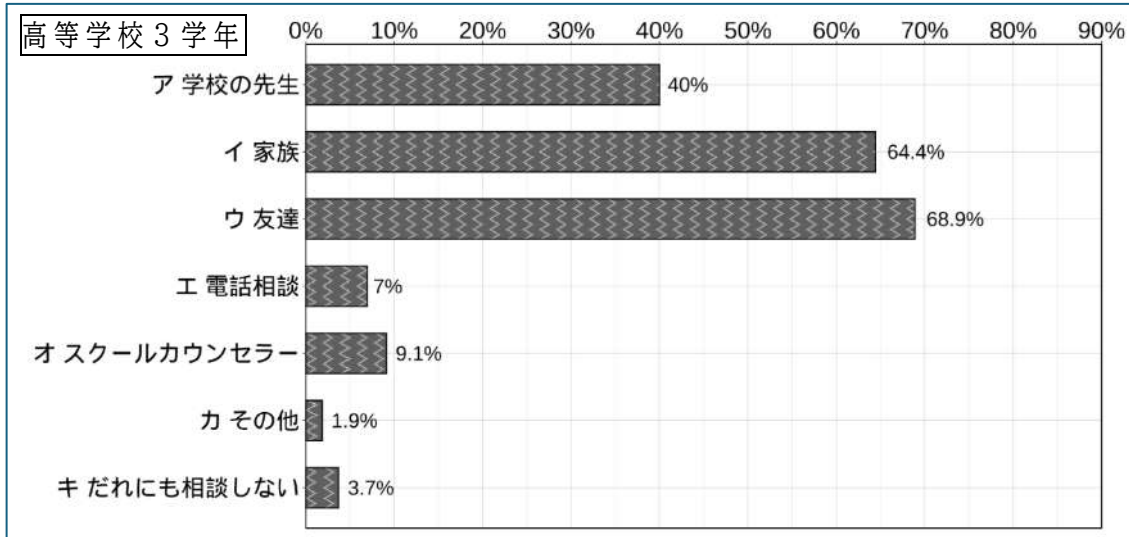
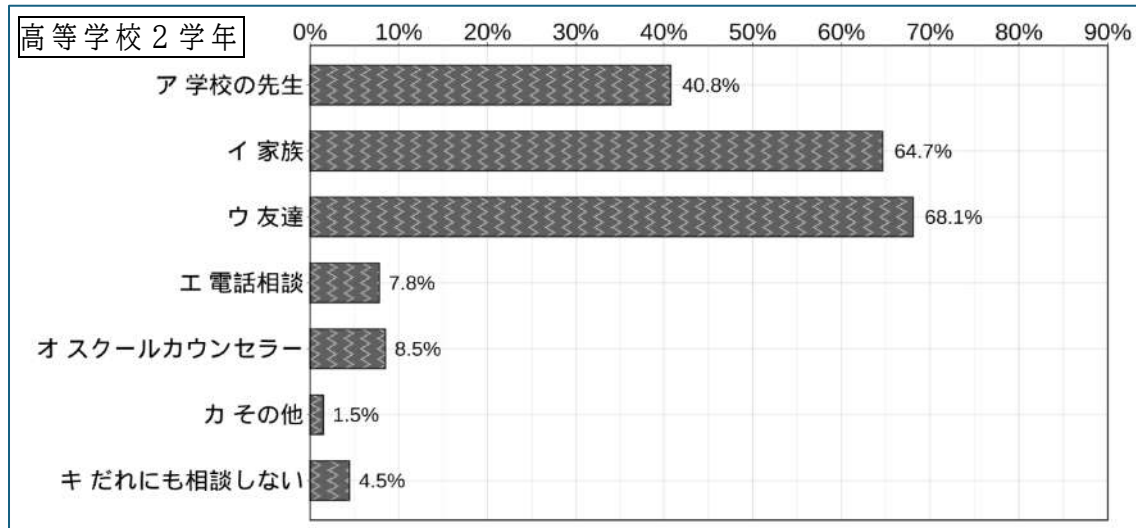
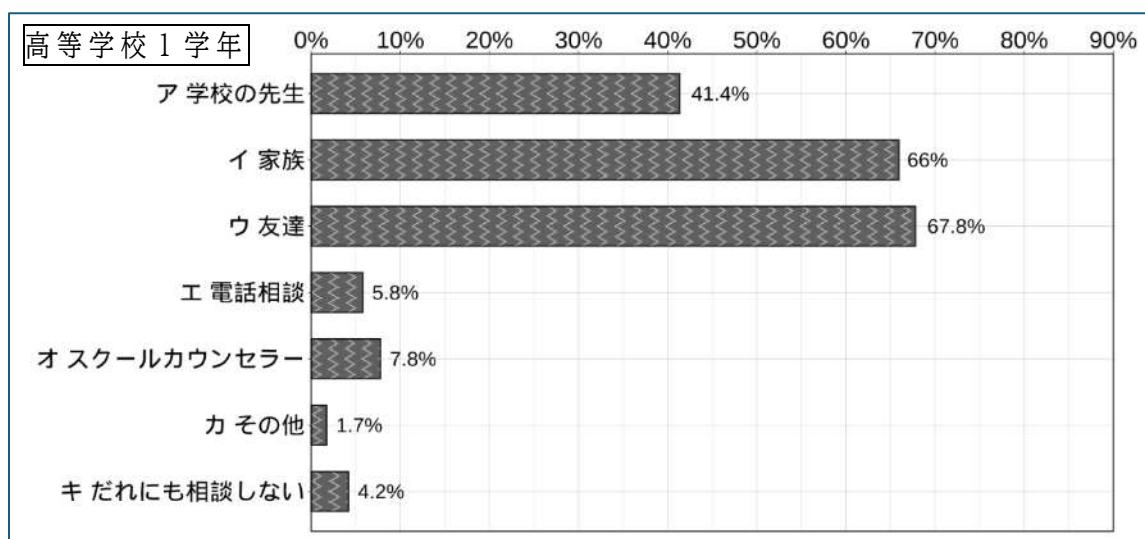
○回答の内訳＜小学校低・中・高学年別＞



○ 回答の内訳＜中学校学年別＞



○ 回答の内訳＜高等学校学年別＞



【設問 5 の回答結果の傾向】

回答の内訳〈校種別〉では、どの校種においても「学校の先生」「家族」「友達」の割合が多かった。特に、小学校では及び中学校では「家族」、高等学校では「友達」が最も多かった。

また、学年が上がるにつれて、「学校の先生」「家族」の割合が減っていき、「友達」の割合が増えている傾向が見られた。

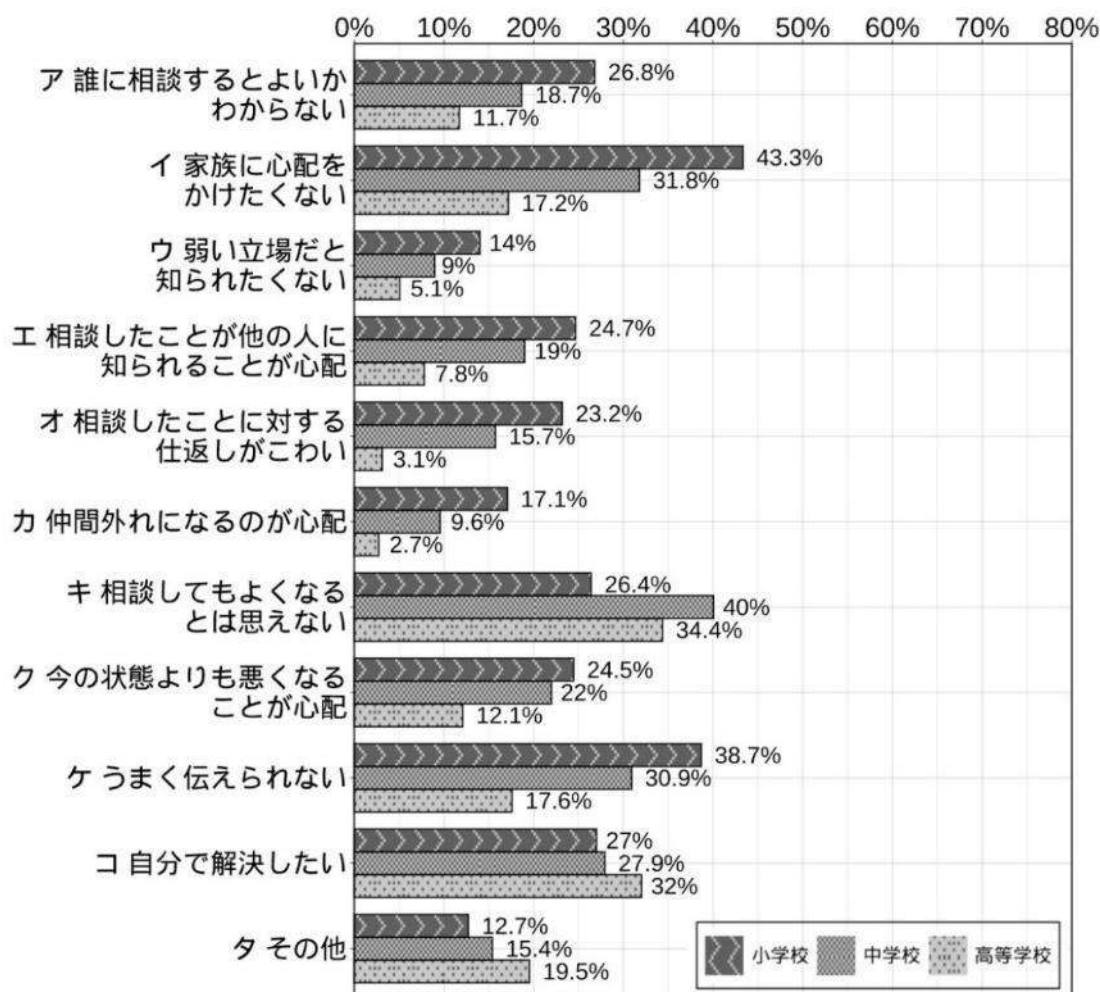
さらに、「だれにも相談しない」と回答した割合は、小学校では 7.8%、中学校では 9.1%、高等学校では 4.7% となり、全体としては 8.0% となった。

※詳細は別紙参照

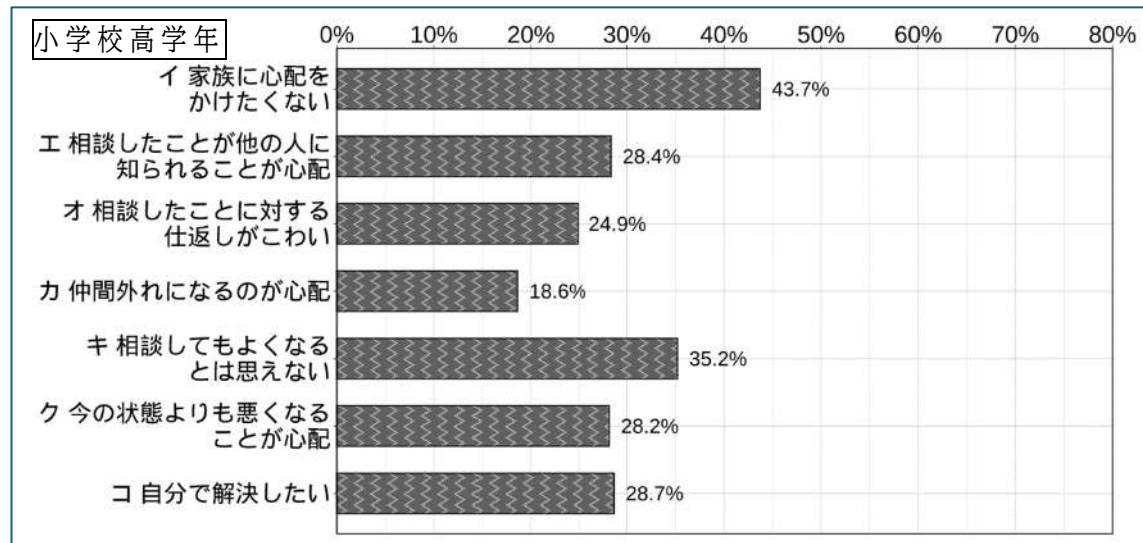
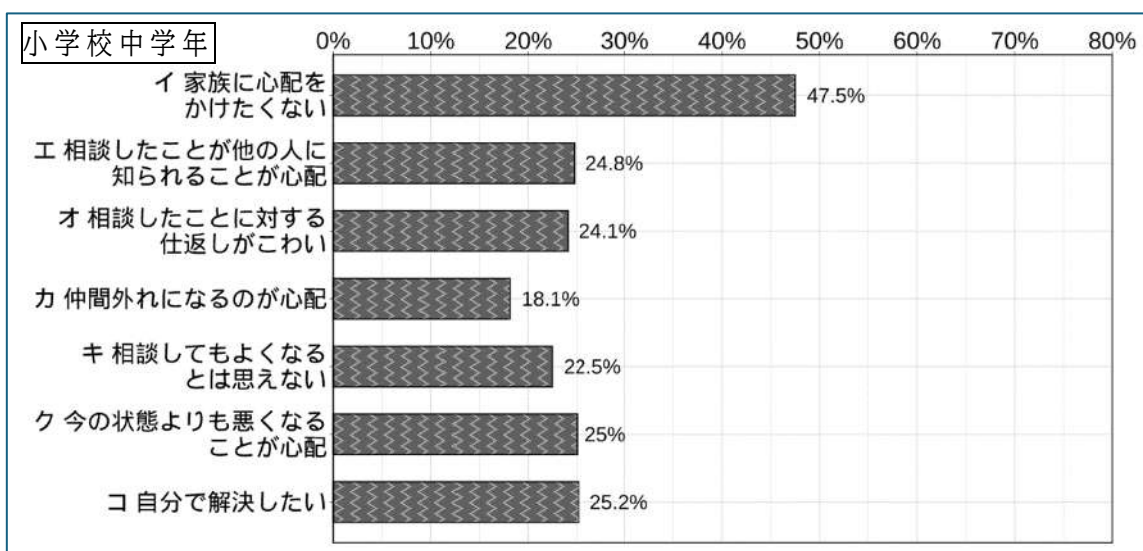
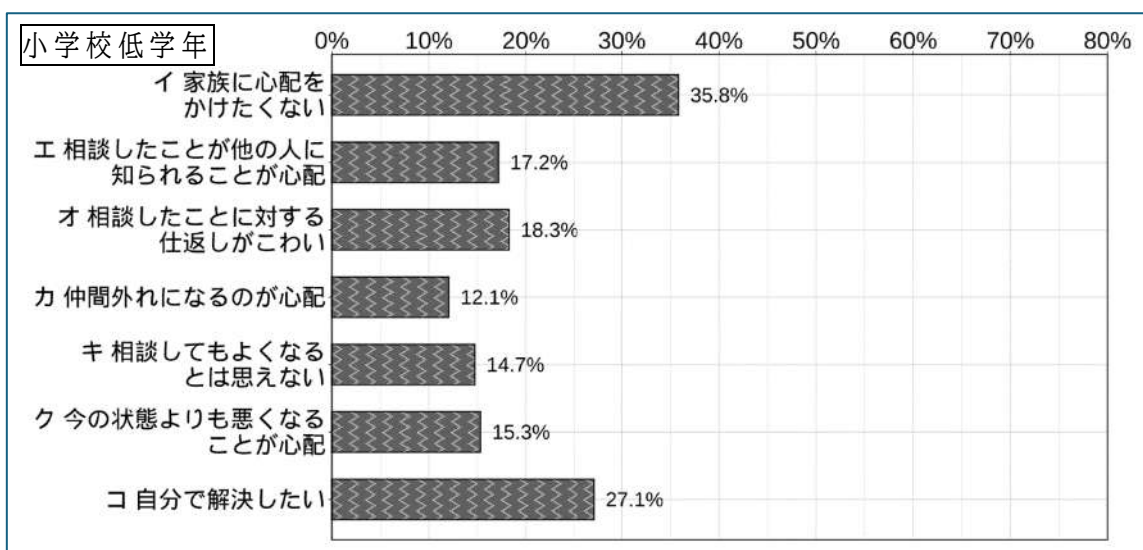
- 設問 6 自分がいじめられたら、“誰にも相談しない”と答えた人に聞きます。それはなぜですか。（複数回答可）
- ア 誰に相談するとよいかわからない
 イ 家族に心配をかけたたくない ウ 弱い立場だと知られたくない
 エ 相談したことが他の人に知られることが心配
 オ 相談したことに対する仕返しがこわい
 カ 仲間外れになるのが心配 キ 相談してもよくなるとは思えない
 ク 今の状態よりも悪くなることが心配 ケ うまく伝えられない
 コ 自分で解決したい タ その他

【設問 6 の回答結果】

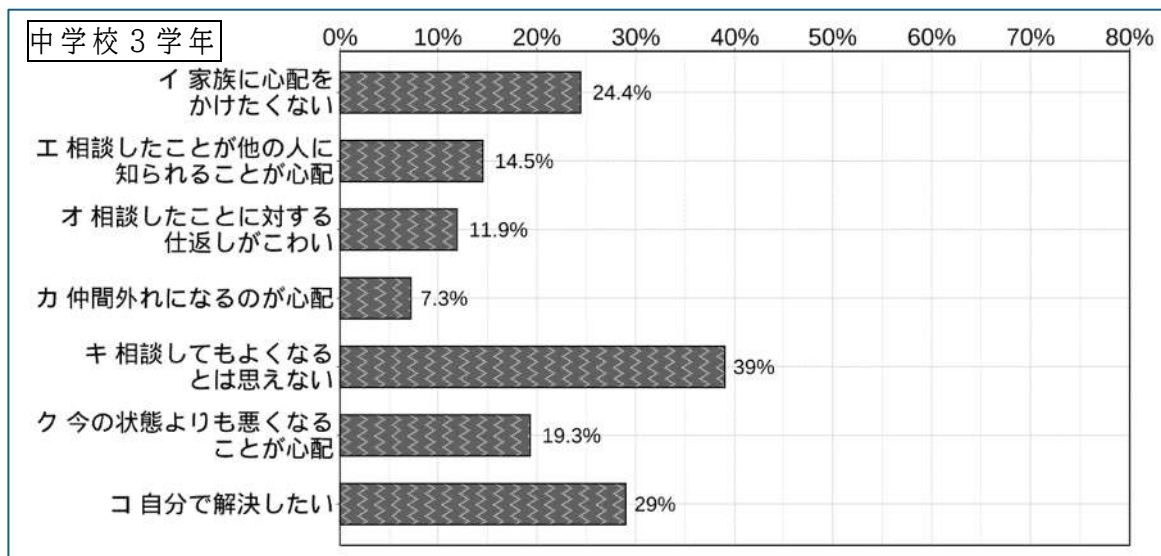
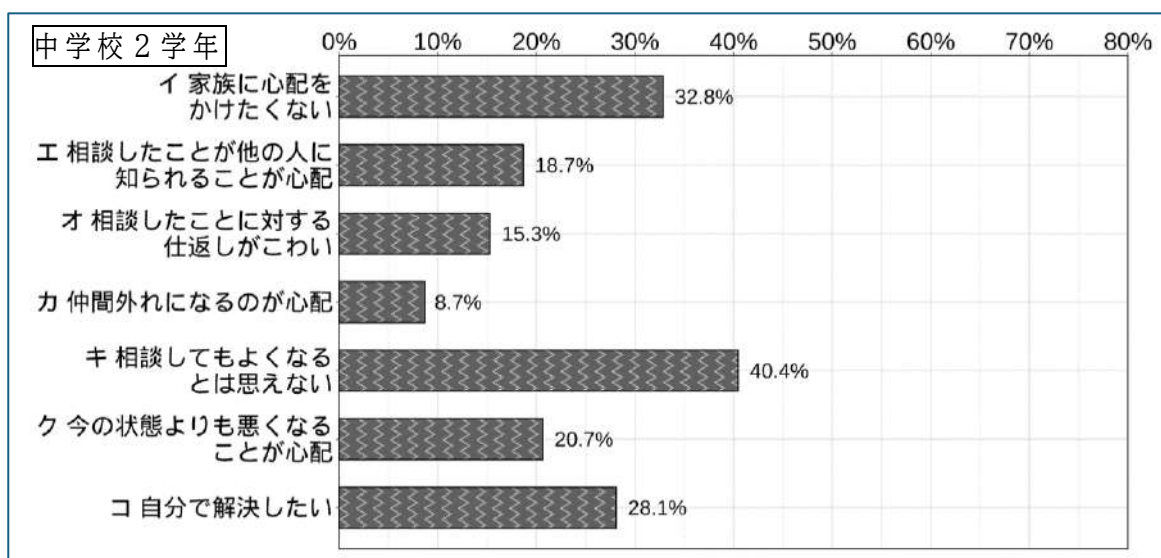
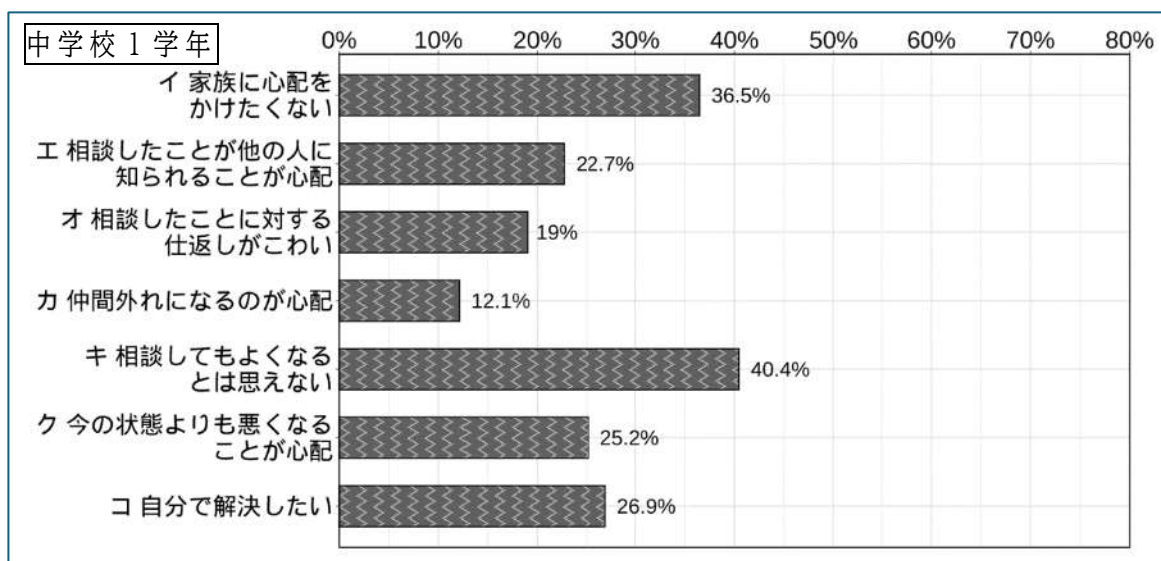
○回答の内訳〈校種別〉



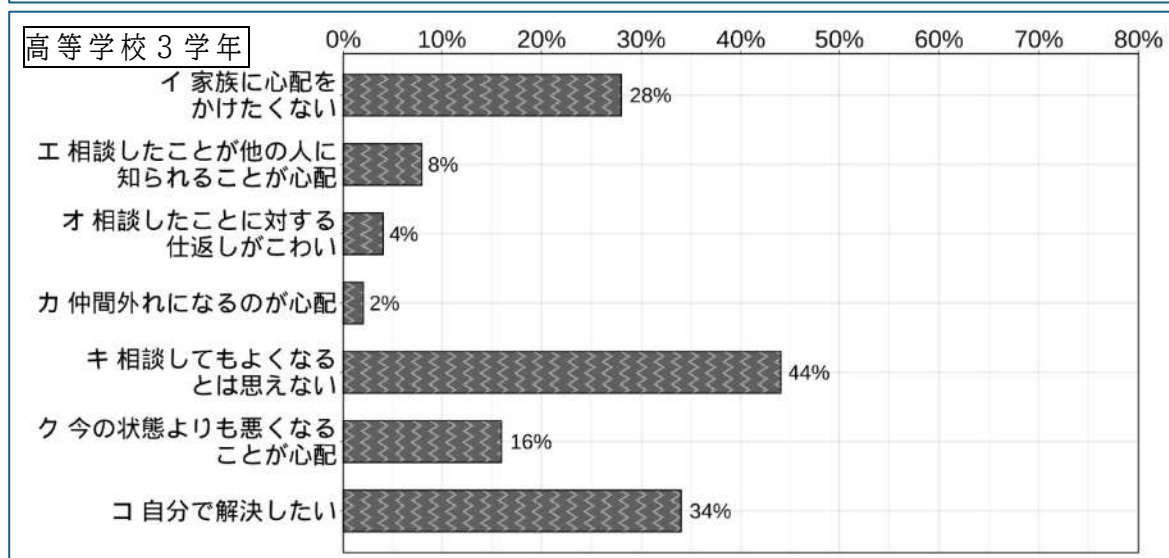
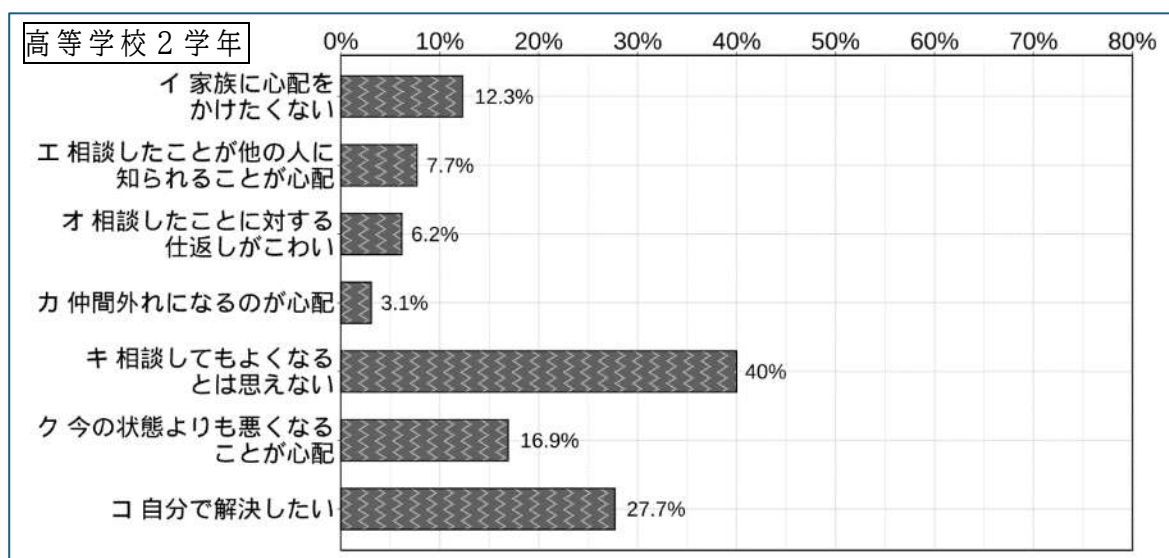
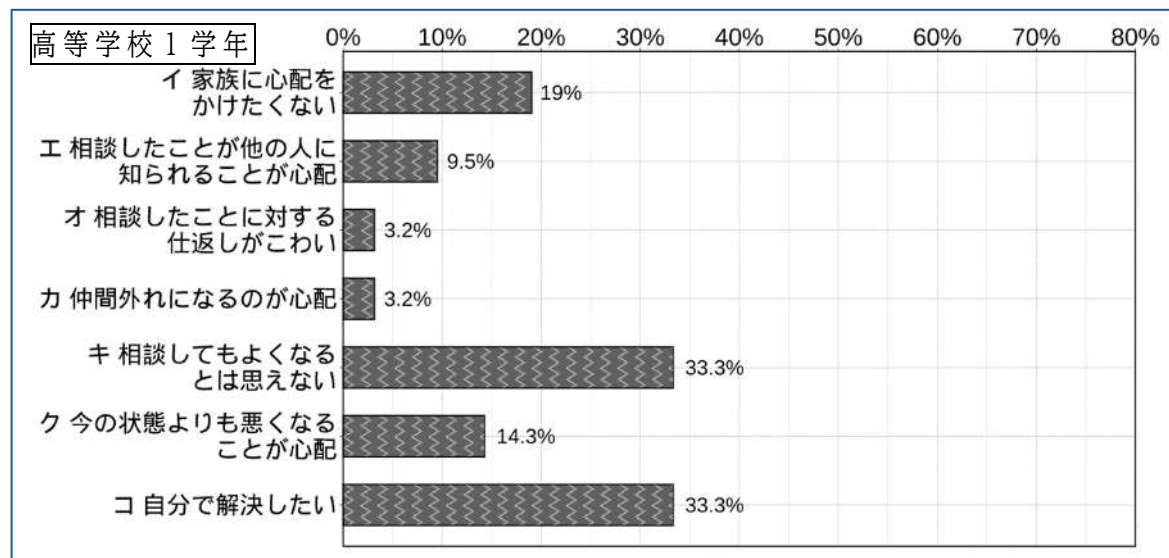
○ 回答の内訳＜小学校低・中・高学年別＞



○ 回答の内訳＜中学校学年別＞



○ 回答の内訳＜高等学校学年別＞



【設問 6 の回答結果の傾向】

回答の内訳〈校種別〉では、小学校では「家族に心配をかけたくない」の割合が最も多く、中学校及び高等学校では、「相談してもよくなるとは思えない」が最も多かった。

また、学年が上がるにつれて、多くの回答項目では回答割合が減っているが、「自分で解決したい」は回答割合が増える傾向が見られた。

※詳細は別紙参照

設問 7 設問 3 で「ア ある」と答えた人（今の学年になってから、いじめられたことが“ある”と答えた人）に聞きます。今もいじめられていますか。

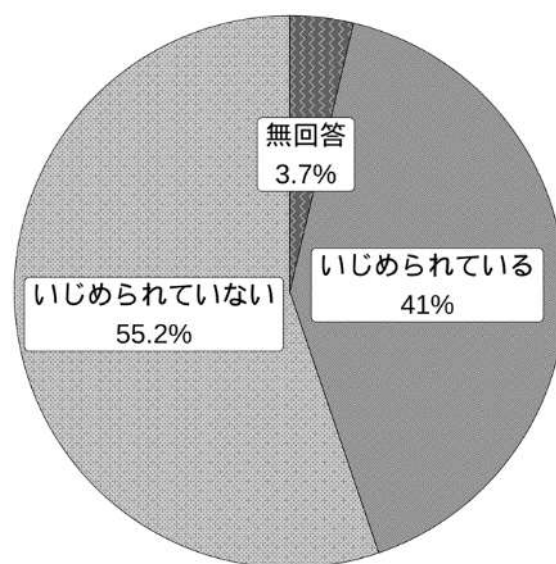
ア いじめられている

イ いじめられていない

【設問 7 の回答結果】

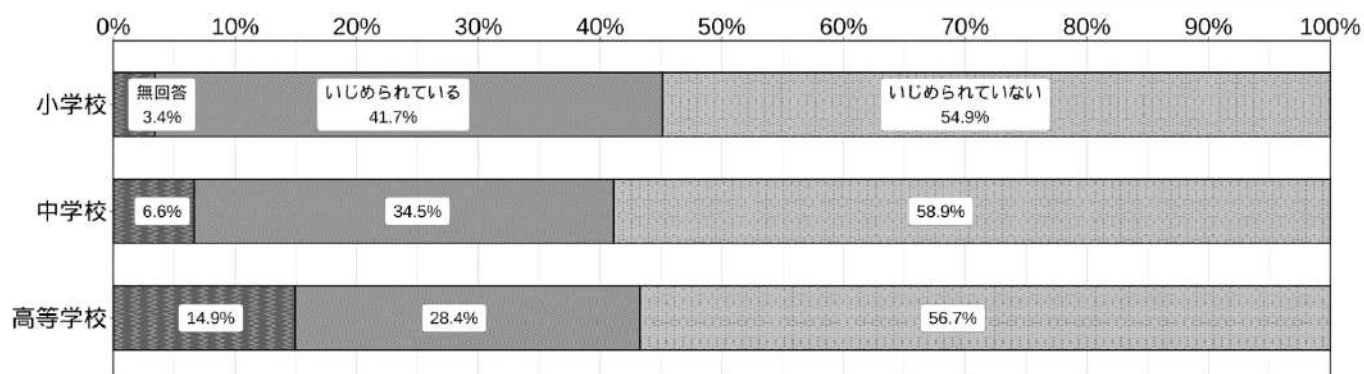
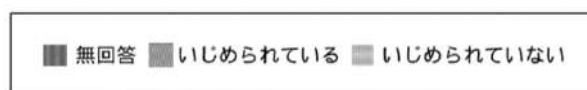
○校種別人数 (人)

	小学校	中学校	高等学校	全体
いじめられている	7,244	591	19	7,854
いじめられていない	9,523	1,010	38	10,571
無回答	588	114	10	712
設問 3 アの回答数	17,355	1,715	67	19,137



○校種別割合 (%)

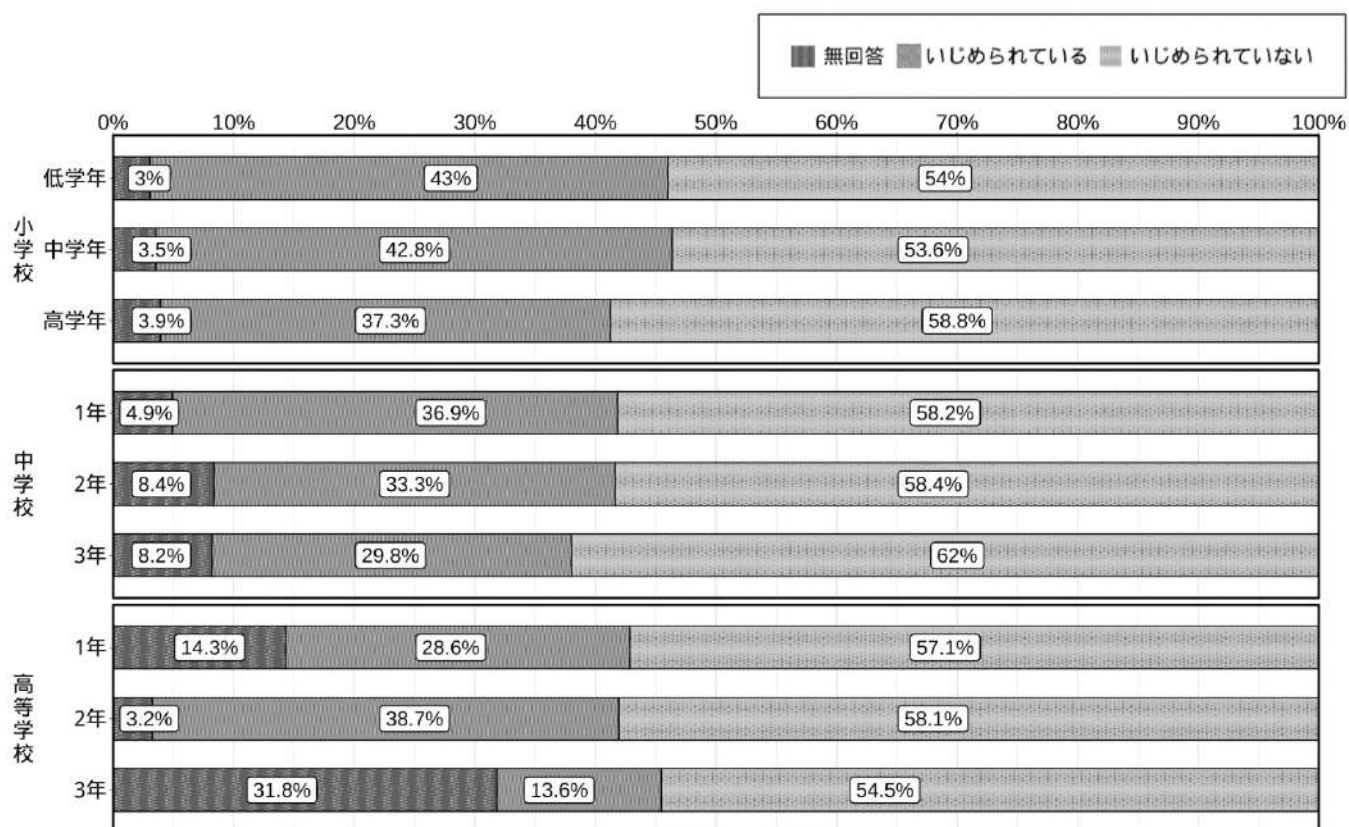
	小学校	中学校	高等学校	全体
いじめられている	41.8%	34.5%	28.4%	41.0%
いじめられていない	54.9%	58.9%	56.7%	55.2%
無回答	3.4%	6.6%	14.9%	3.7%



○設問 3 に対する児童生徒の学年別回答数及び割合

(人)

	小学校						中学校			高等学校			全体
	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	1 年	2 年	3 年	1 年	2 年	3 年	
いじめられている	1,566	1,670	1,377	1,146	794	575	308	183	98	4	12	3	77,36
いじめられていない	2,203	1,863	1,590	1,569	1,189	967	485	321	204	8	18	12	10,429
設問 3 アの回答数	3,874	3,657	3,077	2,813	2,062	1,607	834	550	329	14	31	22	18,870
「いじめられている」割合	40.4%	45.7%	44.8%	40.7%	38.5%	35.8%	36.9%	33.3%	29.8%	28.6%	38.7%	13.6%	41.0%



【設問 7 の回答結果の傾向】

回答の内訳〈校種別〉では、「いじめられている」と回答した割合は小学校が最も多く、中学校、高等学校と学年が上がるにつれて、割合は減っている傾向が見られた。

また、無回答の割合は、学年が上がるにつれて増えている傾向が見られ、学年別の回答では、高等学校 3 年生が 31.8% と最も多かった。

設問 8 あなたは、今の学年になってから、いじめられている人を見たり、聞いたことがありますか。

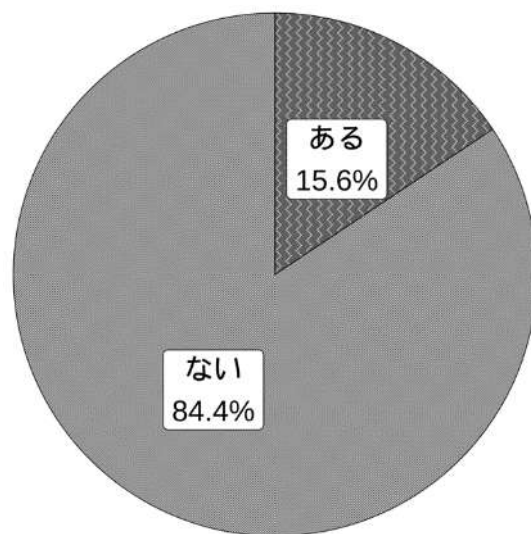
ア ある

イ ない

【設問 8 の回答結果】

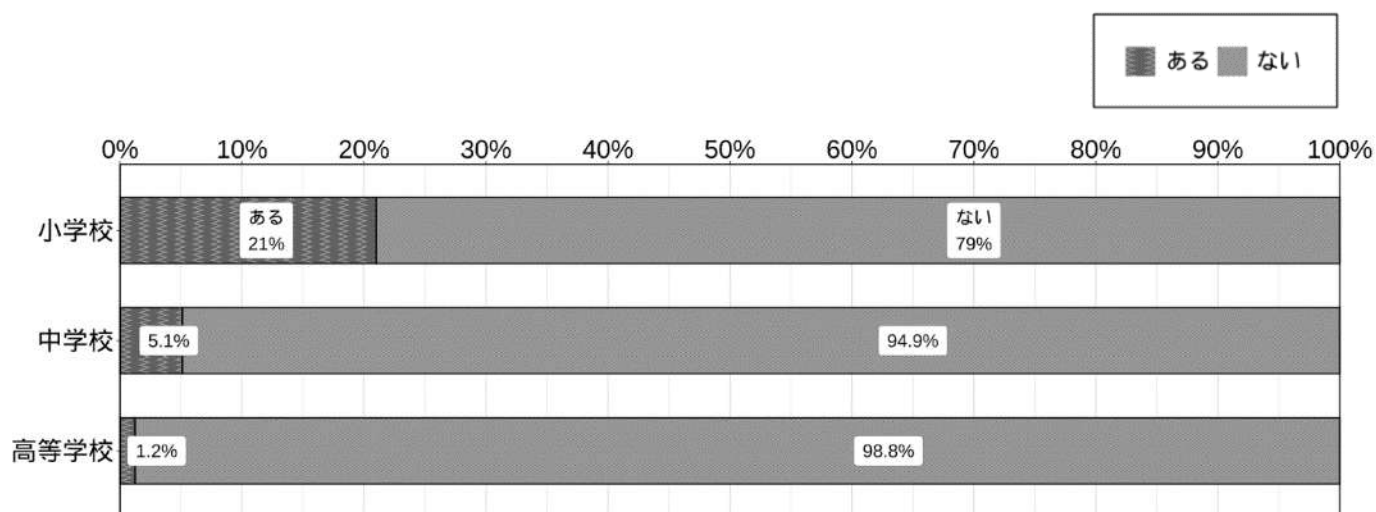
○校種別人数 (人)

	小学校	中学校	高等学校	全体
ある	17,775	1,827	68	19,670
ない	66,873	33,900	5,418	106,191
調査提出数	84,648	35,727	5,486	125,861



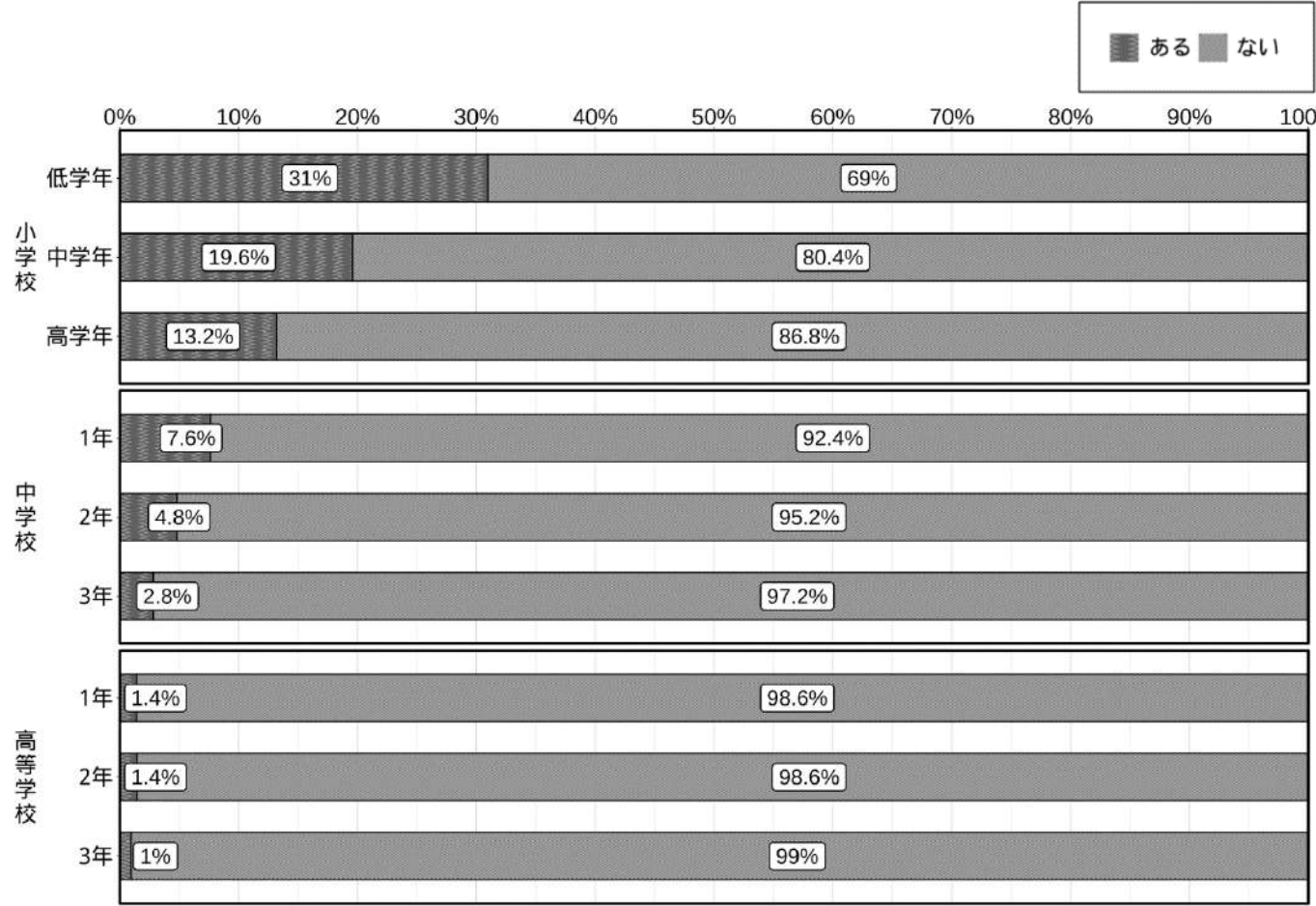
○校種別割合 (%)

	小学校	中学校	高等学校	全体
ある	21.0%	5.1%	1.2%	15.6%
ない	79.0%	94.9%	98.8%	84.4%



○設問 8 に対する児童生徒の学年別回答数 (人)

	小学校						中学校			高等学校			全体
	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	1 年	2 年	3 年	1 年	2 年	3 年	
ある	4,320	3,937	3,200	2,336	1,996	1,749	923	574	329	26	27	15	1,9432
ない	8,959	9,433	10,960	11,763	12,167	12,450	11,153	11,407	11,304	1,852	1,756	18,10	105,014
調査提出数	13,279	13,370	14,160	14,099	14,163	14,199	12,076	11,981	11,633	1,878	1,783	1,825	124,446
「ある」割合	32.5%	29.4%	22.6%	16.6%	14.1%	12.3%	7.6%	4.8%	2.8%	1.4%	1.5%	0.8%	15.6%



【設問 8 の回答結果の傾向】

回答の内訳〈校種別〉では、「ある」と回答した割合は小学校が最も多く、中学校、高等学校と学年が上がるにつれて、回答の割合は減っている。

設問 9 設問 7で「ア ある」と答えた人（今の学年になってから、いじめられている人を見たり、聞いたりしたことが“ある”人）に聞きます。それはどんないじめですか。（複数回答可）

ア 仲間はずれや無視をされる

イ たたかれたり、けられたりする

ウ 持ち物をかくされたり、いたずらされたりする

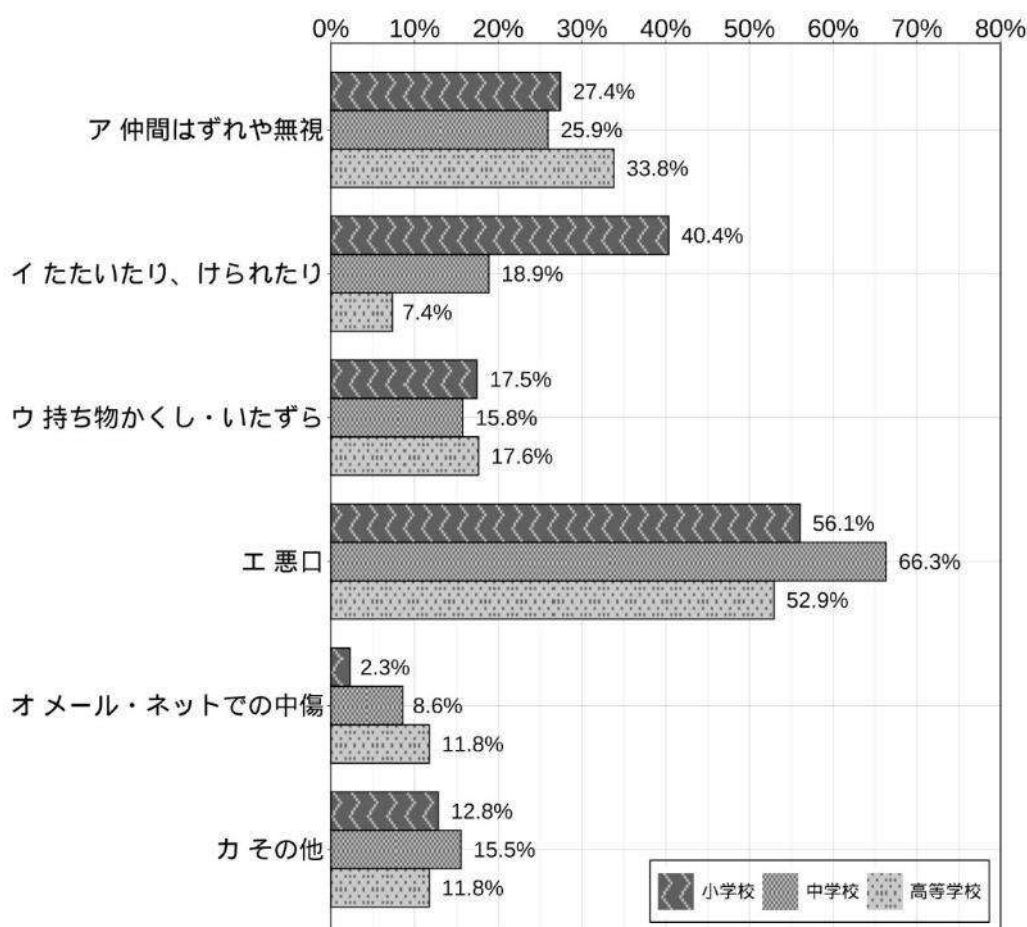
エ 悪口を言われる

オ 傷つく内容のメールが送られてきたり、インターネットに書き込まれたりする

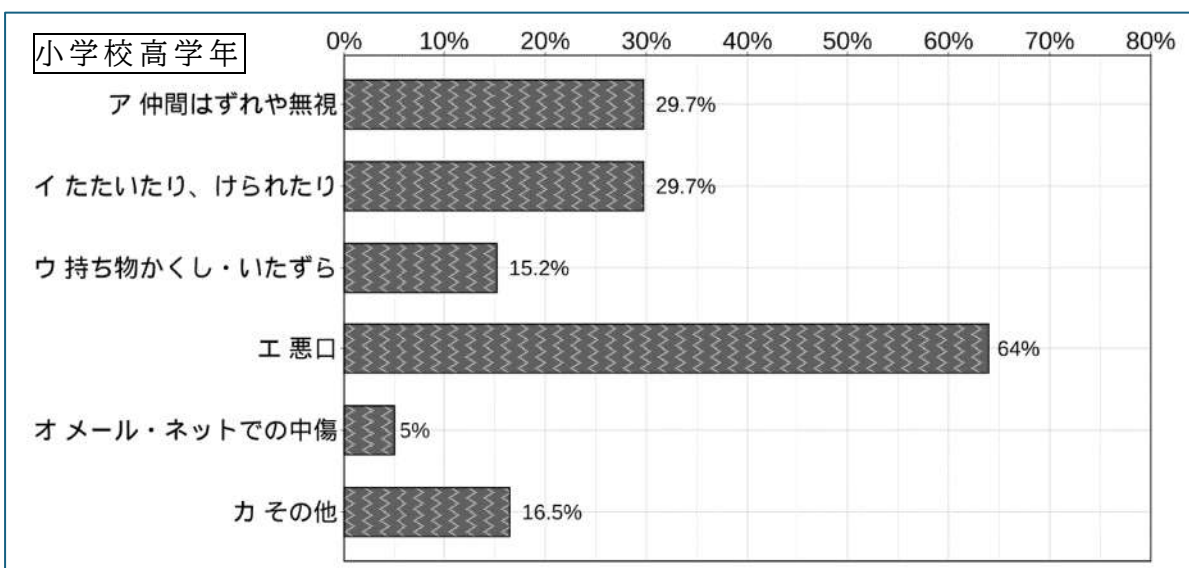
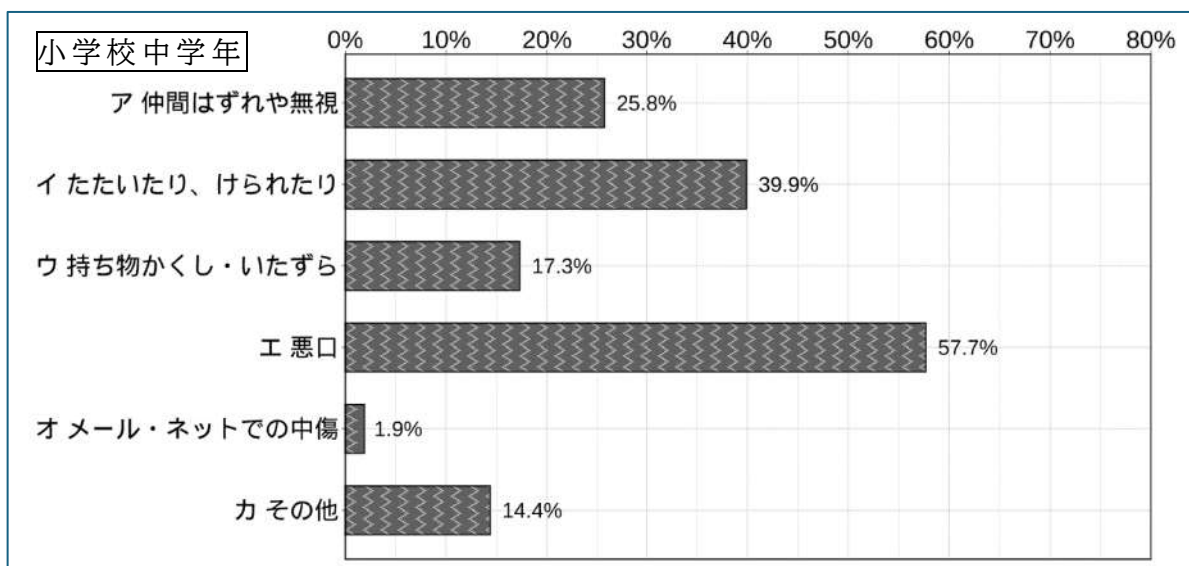
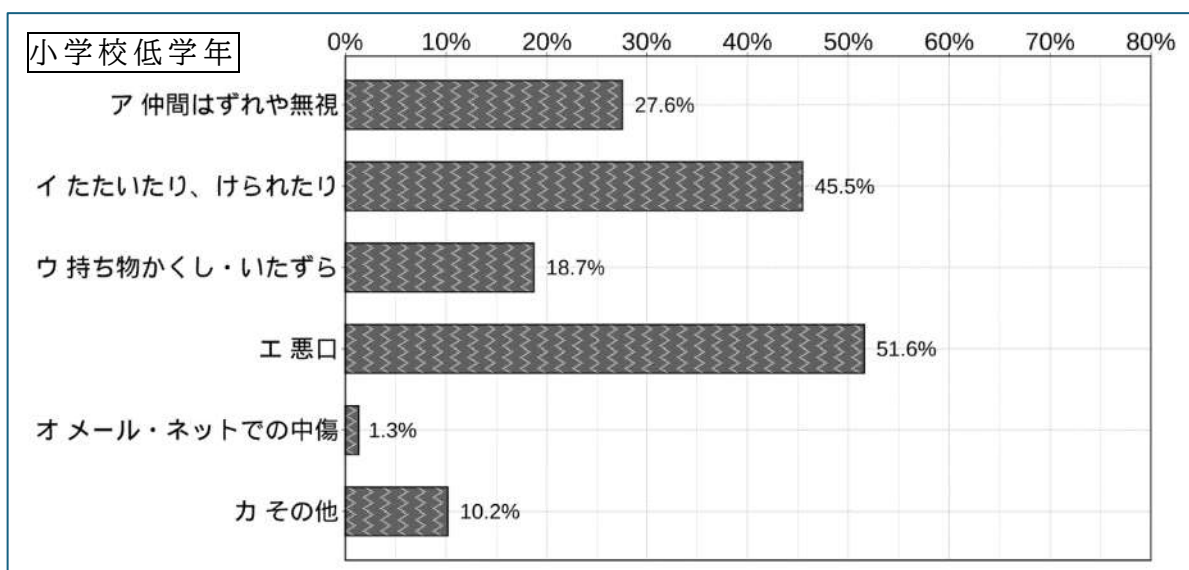
カ その他

【設問 9 の回答結果】

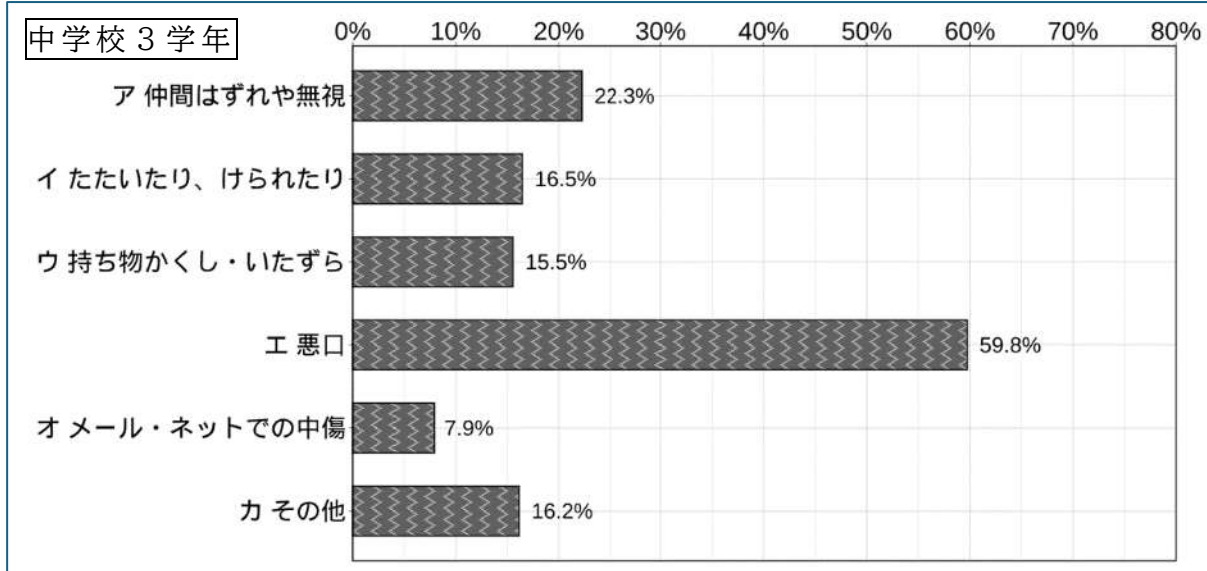
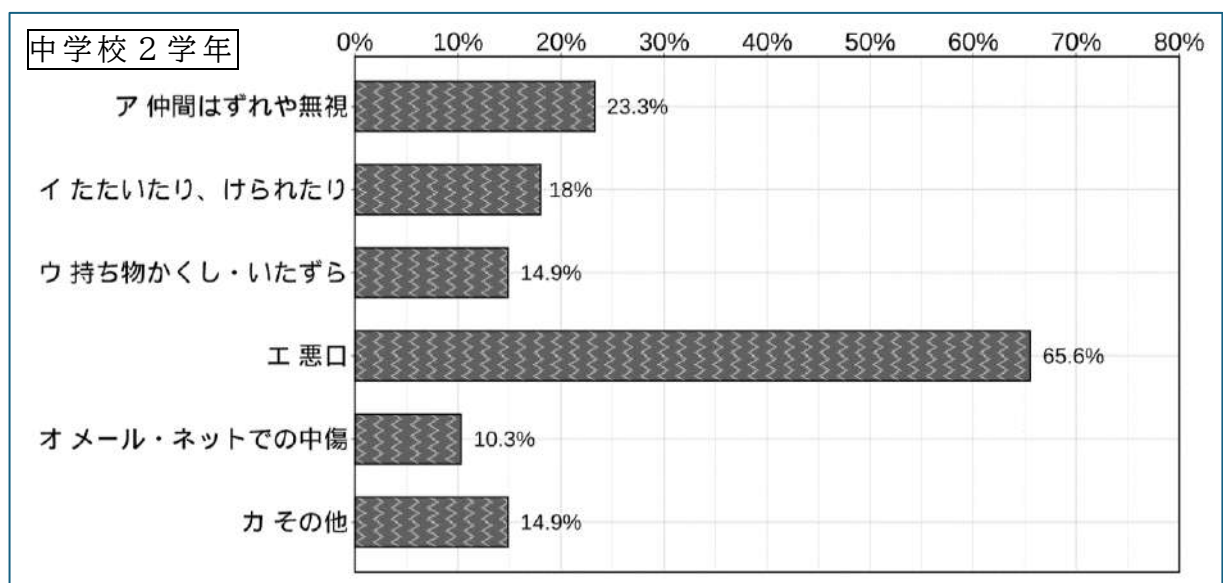
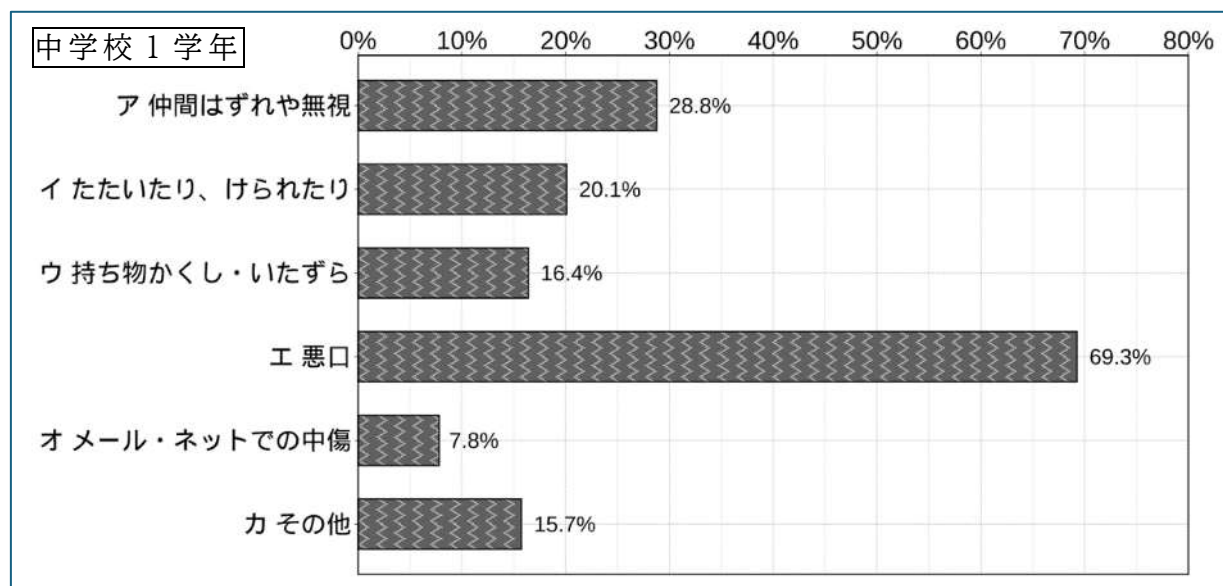
○回答の内訳＜校種別＞



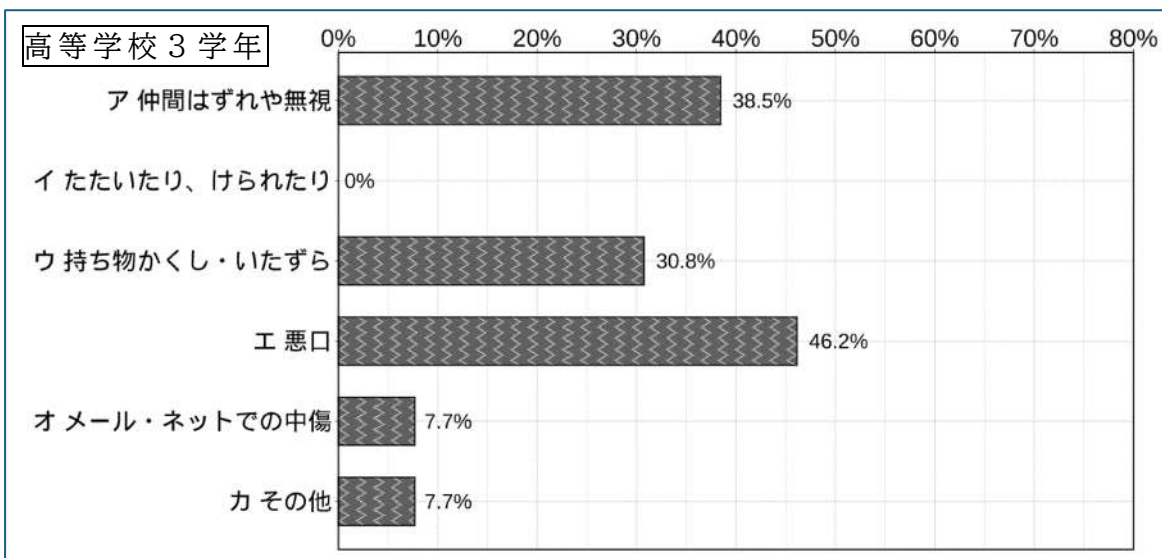
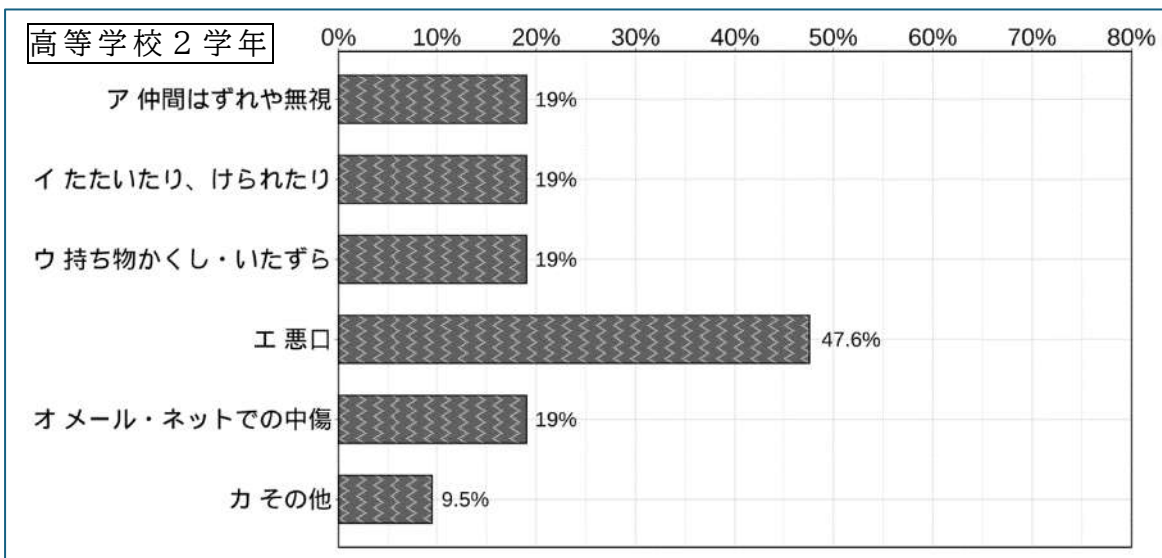
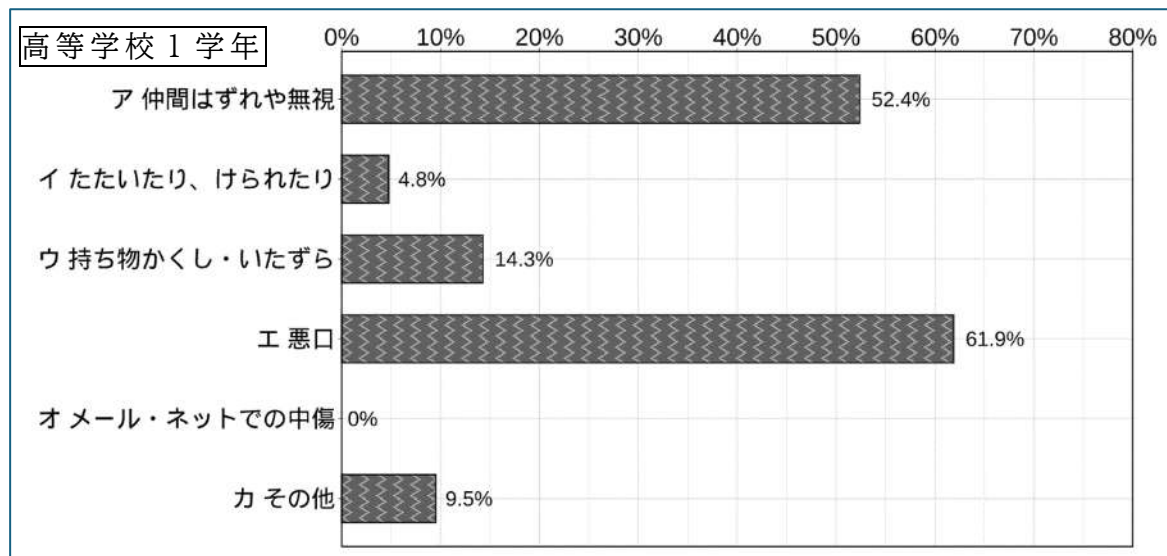
○回答の内訳＜小学校低・中・高学年別＞



○ 回答の内訳＜中学校学年別＞



○回答の内訳＜高等学校学年別＞



【設問 9 の回答結果の傾向】

回答の内訳〈校種別〉では、どの校種においても「悪口」が最も割合が多く、次に多かったのは、小学校では「たたいたり、けられたりする」、中学校及び高等学校では「仲間はずれや無視」であった。

また、「たたいたり、けられたりする」は、学年が上がるにつれて割合は減っている一方、「メール・ネットでの中傷」は、学年が上がるにつれて割合が増えている傾向が見られた。